[審査機関のロゴ]

MSC（海洋管理協議会）漁業審査

# [漁業名]

**予備審査報告書**

|  |  |
| --- | --- |
| 審査機関 |  |
| 漁業クライアント |  |
| 審査のタイプ | 予備審査 |
| 日付 |  |

*審査機関への注意事項*

*このテンプレートでは、審査機関が予備審査報告書を作成する際に必要な情報について詳述している。*

*本テンプレートとMSC漁業認証規格との間に相違がある場合、審査機関はMSC 漁業認証規格の文言を使用すること。審査機関は、複数の審査単位や複数の採点要素を反映させるために得点表を修正することができる（各評価項目の下に追加の行を設ける等）。審査機関は、どの審査単位または採点要素が参照されているかが明確になっていることを確認すべきである。審査機関は、すべての「審査単位」および「採点要素」についてその根拠を示すべきだが、複数の「審査単位」や「採点要素」を扱う場合には、根拠をグループ化することができる。*

*本テンプレートは、可能な限り本審査報告書テンプレートと整合性を保つように作られている。しかしながら、予備審査はリソースに制限のある中で実施されるため、このテンプレートに詳細な情報が記載されないことがあり、また、クライアントが予備審査に関して異なるニーズを持つ可能性についても、MSCは把握している。*

*情報が入手できる場合には、色付けされていない欄についてすべて記入すること。斜体で示された指示、注釈、ガイダンスはすべて削除し、該当する場合は具体的な情報に置き換えること（例：審査機関への注意事項）。*

*企業ブランディング：*

*このテンプレートは、適合性審査機関（審査機関）の企業イメージに合わせてフォーマットすることができる。審査機関は、その内容と構成がテンプレートに準拠するようにしなければならない。*

*適切な修正の例としては、以下のようなものが挙げられる：*

* *タイトルページに会社のロゴを入れる*
* *報告書全体で会社のヘッダーとフッターを使用する*
* *フォントスタイルの変更；*
* *協議に関する審査チームメンバーの連絡先詳細の記載*
* *該当しないセクションの削除；*
* *序文や説明文の削除*
* *明確で読みやすくするために小見出しを追加。*

## 目次

*目次を挿入。*

## 用語集

*MSC-MSCI用語集を参照すること。任意で用語集または略語リストをここに挿入できる。ここで定義された用語は、MSC-MSCI用語集で使用されている用語と矛盾してはならない。*

## エグゼクティブサマリー

*審査機関は、以下をエグゼクティブサマリーに記載しなければならない：*

* *審査員または作成者の氏名及び説明。*
* *適用されたプロセスについての簡単な説明と審査活動の概要。*
* *クライアントの操業に関する主な長所及び短所。*
* *当該漁業が MSC漁業認証規格にどの程度合致しているか、または合致していないかについての記述。*

## レポートの詳細

### 予備審査の目的と制約

*審査機関は、予備審査がMSC漁業認証規格に照らした本審査と重複するものでないことを報告書に記さなければならない。本審査では、予備審査には含まれない審査チームメンバーのグループと公開協議プロセスが含まれる。予備審査では、クライアントより提供された限られた情報に基づいて、暫定的な審査が行われる。*

*審査機関は、この予備審査に特化したその他の詳細を適宜追加することができる。*

*審査機関は、漁業へのアクセスの困難さや重要なデータの不足など、この予備審査に関する制約について概説すべきである。*

### バージョン詳細

*審査機関は、この審査に使用した漁業プログラム文書のバージョンに関する記述を報告書に含めなければならない。*

表1： 漁業プログラム文書のバージョン

|  |  |
| --- | --- |
| **文書／審査ツリー** | **版／タイプ** |
| MSC漁業認証プロセス | 第3.0版 |
| MSC漁業認証規格 | 第3.0版 |
| 審査ツリー | *通常／増殖二枚貝漁業／サケ類／移入種／その他* |
| MSC一般要求事項 | 第2.5版 |
| MSC本審査報告用テンプレート | 第2.0版 |
| MSC予備審査報告用テンプレート | 第4.1版 |

## 審査単位と認証単位

## 審査単位

*審査機関は、当該漁業がMSC 漁業認証規格の適用範囲であるという審査機関の判断を報告書に記すことができる。増殖漁業の場合、または審査単位に外来種が含まれる可能性が高い場合、報告書には、適用範囲に対する漁業の位置づけを記載することができる。*

*報告書には、可能性のある審査単位および、その審査単位を選択した根拠を記載すること。*

*海域については、FCP第3.0版 G7.5.6 を参照。*

*参照：FCP第3.0版 7.4及び7.5*

表2：審査単位（UoA）

|  |  |
| --- | --- |
| **審査単位X** | **説明** |
| 対象種 |  |
| 海域 |  |
| 漁具・漁法、該当する場合には漁船の種類 |  |
| クライアントグループ |  |
| 認証資格のある他の漁業者 |  |
| 審査単位を選択した根拠 |  |
| **審査単位X** | **説明** |
| 対象種 |  |
| 海域 |  |
| 漁具・漁法、該当する場合には漁船の種類 |  |
| クライアントグループ |  |
| 認証資格のある他の漁業者 |  |
| 審査単位を選択した根拠 |  |
| **審査単位X** | **説明** |
| 対象種 |  |
| 海域 |  |
| 漁具・漁法、該当する場合には漁船の種類 |  |
| クライアントグループ |  |
| 認証資格のある他の漁業者 |  |
| 審査単位を選択した根拠 |  |

## 漁船リスト（任意）

*審査機関は、審査単位ごとの漁船のリスト、または一般に入手可能な漁船リストへのハイパーリンクを報告書に含めることができる。*

## トレーサビリティ

### トレーサビリティ - 初期評価と計画

参照：FCP 第3.0版 7.8.2 l-n

表3：トレーサビリティ初期計画

|  |
| --- |
| 漁業審査の対象外の関係者に対する製品の所有権の変更時点の案 |
| *漁業評価の対象ではない関係者への最初の販売時点と、その前に行われる可能性のあるクライアントグループメンバー間による取引を確認する。* |
| 後続のCoCが必要とされる時点の提案 |
| *漁業審査の対象外の関係者に最初に販売する前に、この実施について提案されているか、また、それをいつ行うことが提案されているかを確認する。* |
| 初回現地視察時にトレーサビリティについて確認する計画 |
| *必要な情報の概要、分かる範囲で、その情報を提供できる人々。* |

### 漁業内のトレーサビリティ

*審査機関は、報告書に、漁業内の追跡、トレース、分別システム、および将来的に認証されたものとして販売されることを意図した製品について、どのようにして審査単位まで遡ることができるかについての説明を含めることができる。*

*このセクションでは、漁獲物を漁具の種類、魚種、漁獲地域ごとに分別し、識別する漁業の能力に関する情報を求める。*

*審査機関は、報告書に、トレーサビリティに関する管理システムの堅牢性についての評価を含めることができる。*

*審査機関は、一般に公開されている文書へのハイパーリンクを含めた、トレーサビリティに関する文献を報告書に含めることができる。*

*参照： FCP第3.0版7.17.1及び7.17.6.a-d*

表4：漁業内のトレーサビリティ

|  |
| --- |
| 漁業のそれぞれの審査単位を追跡、トレースする能力に関する記述 |
| *漁業クライアントが水産物および水産製品を各UoAまで追跡することを可能にするシステム。**漁業クライアントが水産物および水産製品を追跡し、各UoAまでさかのぼることはできないシステム。**(必要に応じて削除）* |
| 漁獲から水揚げまでの間の水産物および水産製品の移動*漁獲から水揚げまでの間の製品の移動についての説明。以下のいずれかが発生する場合を含む：漁獲、海上加工、移動、積み替え、積み出し、水揚げ。* |
| *この情報についてはフロー図で提供すること。以下の例を参照：**漁船→積み替え→積み出し→水揚げ* |
| 該当する場合には、水揚げからCoC開始時点案までの間の水産物および水産製品の移動*水揚げからCoC開始時点案までの間の製品の移動の説明。以下のいずれかが行われている場合を含む： 輸送、保管、選別・格付け、包装、競り。* |
| *提案されているCoC開始時点が水揚げ後の場合にこのセクションを記入。CoCが水揚げ時または水揚げ前に開始される場合は、「該当しない」と記入。この情報については、フロー図で提供すること。以下の例を参照：**水揚げ→輸送→保管→クライアントグループ会社による販売* |
| 製品の所有権が変わる前の加工、選別、等級付けに関する説明 |
|  |
| 提案されたCoCの対象外であるすべての水産物および水産製品の取扱いと販売に関する重要な追跡事象（すなわち、製品フローのどの時点でこのデータを伝達する必要があるか）について以下を記述する： * 各審査単位への分別プロセス
* 主要なデータ要素（魚種、漁獲水域、漁具などのUoAを特定するためのデータまたは文書）
 |
| *漁業が行う全工程についての詳細。分別の説明のために有効な場合は、画像を含める。* |
| 認証の適用範囲内にIPI資源が含まれる場合、トレーサビリティシステムの検証について記述する。 |
| *IPIは本質的にP1の資源から分離することができない。IPIの存在が、UoAへの分別および重要な追跡事象における主要なUoAデータの管理にどのように影響するかを確認する。**該当しない場合は「該当しない」と記載。* |
| その他、各UoAに遡って追跡、トレースするシステムに関する情報 |
| *例：各UoAへのトレーサビリティを保証する、関連のモニタリング、監督、取締管理、これらのシステムをサポートできる規制、監視員による監視への言及など。* |
| 漁業クライアントが、水産物および水産製品を各UoAに遡って追跡できるシステムか？「はい」の場合、詳細を記述 | はい／いいえ*詳細* |
| 漁業クライアントが、水産物および水産製品を各UoAに遡って追跡できるシステムか？「はい」の場合、詳細を記述 | はい／いいえ*詳細* |
| 漁業内で積み替えは行われているか？ | はい／いいえ |
| 積み替えの種類と、UoAへの追跡・トレースのシステムは？（公海／港／その他）「はい」の場合：* それがいつ、どのように行われるか？
* どのようなシステムによってUoAまで追跡できるのか？
 | 公海／港／その他*詳細：必要に応じて、船上での分別とラベリングについても確認。* |
| 公海での積み替えの場合、UoAまでの追跡・トレースをサポートするシステムは、認証取得者から独立して検証されているか。「はい」の場合、詳細を記述 | はい／いいえ／公海での積み替えはない*詳細* |
| 公海での積み替えの場合、UoAまでの追跡・トレースを確認するシステムは、漁船と受入船の両方をカバーしているか？「はい」の場合、詳細を記述 | はい／いいえ／公海での積み替えはない*詳細* |
| 公海での積み替えの場合、UoAまで追跡・トレースするシステムは、すべての積み替えに適用されるのか？「はい」の場合、詳細を記述 | はい／いいえ／公海での積み替えはない*詳細* |

### トレーサビリティのリスク及び軽減

*審査機関は、非認証の水産物がUoA水産物に混入するリスクにつながる可能性のある要因について、下表を用いて報告書に記載できる。各リスク要因について、そのリスク要因がその漁業に関連するものかどうか、また関連するものであれば、その軽減策やトレーサビリティシステムがどのようなものであるかを記述する。*

*参照：FCP 第3.0版 7.5.10 a-d, 7.17.1.3*

表5：漁業におけるトレーサビリティのリスクと軽減策

| **要因** | **トレーサビリティのリスク要因の説明、リスクの軽減と管理の詳細***それぞれの説明に以下を含める：** ***各要因の発生の有無***
* ***発生時期と頻度（定期的、季節毎、まれに発生、など）***
* ***潜在的なトレーサビリティリスクの軽減方法とリスク管理***
* ***予備審査報告書の他の箇所で提供された情報でカバーされている場合は、必要に応じて相互参照を行う。***
 |
| --- | --- |
| 漁業はUoAに含まれていない漁具を使用しますか？「はい」の場合、以下を説明に含める：* 同一の航海時に発生する可能性がある場合；
* どのようにリスクを軽減するか
 |  |
| UoA の漁船はUoAの漁業域の外でも漁を行うか？「はい」の場合、以下を説明に含める：* 同一の航海時に発生する可能性がある場合
* どのようにリスクを軽減するか
 |  |
| クライアントグループメンバーは、UoAの対象となる活動の中で、認証及び非認証の水産物を取り扱うことがあるか？これは、海上及び陸上での活動の両方を指し、表4の水産物の移動に記されているものを反映する必要があり、以下を含む：* 移動
* 積み替え
* 輸送
* 保管
* 加工
* 選別・等級付け
* 包装
* 水揚げ
* 競り

「はい」の場合は、どのようにリスクを軽減しているかを説明してください。 |  |
| 漁業内で積み替えは行われているか？「はい」の場合、以下について記述：* 積み替えは海上、港、又はその両方で行われているか
* 積み替船がUoAの漁業域外からの水産製品を取り扱う可能性があるか

どのようにリスクを軽減するか。 |  |
| UoAと他の非認証製品が混在又は代替のリスクはあるか？ある場合は、どのようにリスクが軽減されるかを記述。 |  |
| 異なるUoA間で混在する他のリスクはあるか？どのようにリスクを軽減しているかについて記述。 |  |

## 予備審査結果

### 予備審査結果の概要

#### 概要

##### 追加の小見出し（任意）

*審査機関は、分析から得られた要点の概要を報告書に含めるべきであり、認証取得の障壁となり得る事項や、本審査に入る前に検討すべき事項について明確にすること。*

*審査機関は、クライアントからの質問への回答を含めて、当該漁業に特に関連のあるその他の問題について記述することができる。*

#### 推奨事項

*審査機関が、クライアントへの推奨事項や今後の審査に関するメモを含めたい場合、このセクションに含めることができる。*

*審査機関はクライアントに以下のことを通知する：*

* *管理組織や環境保護団体、漁獲後の産業部門、関係する商業漁業や非商業漁業グループと連携し、MSC の認証プロセスと認証関連事項（コストや利点などを含む）についての理解を求める。*
* *本審査において、クライアントが提供すべきデータや資料の種類や範囲。*
* *本審査中の通知をいつ、どこで、どのようにして行うのかを確認する。*
* *漁業審査プロセスに関するMSCのクライアント向けオプショナル研修についての情報を確認する。*

*参照：FCP 第3.0版 7.1.7*

### 原則別の可能性のある条件についてのまとめ

表6：原則レベルでの得点のまとめ

|  |  |
| --- | --- |
| **漁業認証規格の原則** | **仮の得点範囲が60点未満の業績評価指標の数** |
| 原則1 – 資源の持続可能性 |  |
| 原則2 – 漁業が生態系に与える影響 |  |
| 原則3 – 漁業の管理システム |  |

### 業績評価指標レベルでの得点のまとめ

*審査機関は、下の「業績評価指標レベルの得点のまとめ」に記入し、報告書に含めなければならない。セクション7.4～7.6の完全な業績評価指標の得点表を含めることもできる。セクションを使用していない場合は、これを削除してもよい。予備審査の一環として業績評価指標が審査されなかった場合、審査機関は報告書にその旨を記し、採点は行わない。*

*審査機関は仮の得点範囲を採点する際、以下を検討して結果を決定する：*

* *情報によると、いずれの評価項目においてもSG60を満たしそうにない（不合格 <60）。*
* *情報によると、漁業がSG60に達すると考えられるが、SG80ではすべての評価項目を満たさない可能性があり、条件が必要となるかもしれない（条件付き合格 60 – 79）。*
* *情報によると、漁業はSG80を超えて、業績評価指標に条件なしで合格となると考えられる。漁業は、SG100 レベルにおいて1つ以上の評価項目を満たす可能性がある（合格 ≥80）。*

*審査機関は、仮の得点範囲のセルを色分けしなければならない（例：60点＝赤、60-79点＝黄、緑＝80点以上など）。*

*得点のまとめにおいて評価項目が言及されている場合は、MSC漁業認証規格の文言を用いて評価項目について記述すること。*

*適宜、個々の業績評価指標の得点が、原則の総合点にどのように影響するかについてのコメントを記述する。これによって、例えば、1つの原則の中で、その漁業がMSC漁業認証規格に合致しない可能性のある状況を引き起こすようなPIが多数存在するかを確認することができる。*

*漁業がデータ不足であり、リスクに基づいた審査枠組み（RBF）を使用する必要がある場合、審査機関はその旨を漁業に示さなければならない（FCP v2.3 7.1.5表3）。PI 1.1.1の採点にRBFを使用する場合は、PI 1.1.2 の採点は不要であり、PI 1.2.4には既定の80点を付ける。*

*業績評価指標1.1.1（資源状態）、2.1.1（第一種）の結果）、2.2.1（第二種結果）については、FCP第2.3版PF4に記されているように予備的なPSAを実施し、その結果を該当する業績評価指標の表の空欄に記録する。*

*業績評価指標 2.4.1（生息域結果）については、FCP第2.3版 PF7に記されているように予備的なCSAを実施し、その結果をこの業績評価指標の表の空欄に記録する。*

表7：業績評価指標レベルの得点のまとめ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **1.1.1 資源状態** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **1.1.2 資源の回復** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **1.2.1漁獲戦略** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **1.2.2 漁獲制御ルール及び手段** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **1.2.3情報／モニタリング** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **1.2.3R情報／モニタリング（PI 1.2.3の採点にRBFが適用された場合） – 該当しない場合は削除** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **1.2.4 資源状態の評価** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **2.1.1 認証適用範囲内の混獲種に関する結果** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **2.1.2 認証適用範囲内の混獲種の管理戦略** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **2.1.3認証適用範囲内の混獲種の情報** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **2.1.3R認証適用範囲内の混獲種の情報（PI 2.1.3の採点にRBFが適用された場合）該当しない場合は削除** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **2.2.1 ETP/OOS種結果** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **2.2.2 ETP/OOS種管理戦略** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **2.2.3 ETP/OOS種に関する情報** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **2.2.3R ETP/OOS種に関する情報（PI 2.2.3の採点にRBFが適用された場合）。該当しない場合は削除** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **2.3.1 生息域結果** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **2.3.2生息域の管理戦略** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **2.3.3生息域の情報** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **2.3.3R生息域の情報（PI 2.3.3の採点にRBFが適用された場合）。該当しない場合は削除** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **2.4.1生態系結果** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **2.4.2 生態系管理戦略** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **2.4.3生態系情報** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **3.1.1法的及び／もしくは慣習的枠組み** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **3.1.2協議、役割及び責任** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **3.1.3長期目標** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **3.2.1審査対象漁業の目標** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **3.2.2意思決定プロセス** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **3.2.3遵守及び執行** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |
| **業績評価指標** | **仮の得点範囲** | **データ不足？** |
| **3.2.4モニタリングと管理業績評価** | <60 / 60 – 79 / ≥80 | Yes / No |
| 根拠または要点 |
|  |

### 原則1

#### 原則1 背景

##### 追加の小見出し（任意）

*審査機関は、以下のトピックに基づいた漁業の概要を、使用した電子文書やその他の文書を参照して報告書に含めることができる：*

* *必要に応じて、生活史を含む漁業資源についての概要。*
* *評価方法、規格、資源指標、生物学的限界値などの説明を含めた、資源の評価による資源状態についての概要。*
* *漁業の季節的操業に関する情報（この前の概要のセクションに含まれていない場合）。*
* *漁業及び管理に関する簡単な経歴。*

*審査機関は、得点の根拠となる情報を使用をしている場合、得点表に記さなければならない。*

*審査機関は、対象種が主な低次栄養段階種（LTL）であるかどうかを報告書に記載すること。複数の原則1の種が存在する場合、審査機関は、どの種が主なLTL種であるかを報告書に記載すべきである。*

#### 漁獲量の概略

*審査機関は、審査単位（UoA）の経時的な漁獲量を示す漁獲量の概略を報告書に含めることができる。*

#### 漁獲可能量（TAC）及び漁獲データ

*審査機関は、以下の表を用いた漁獲可能量（TAC）及び漁獲データ表を報告書に含めること。また、可能であれば、魚種や漁具ごとに別表を提出する。*

表8：総漁獲可能量（TAC）と漁獲データ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **TAC／漁獲データ** | **年** | **量** |
| TAC | 年 | 量（数、単位） |
| TACのUoAへの割り当て | 年 | 量（数、単位） |
| UoAの総漁獲量（最新の年） | 年 | 量（数、単位） |
| UoAの総漁獲量（2番目に直近の年） | 年 | 量（数、単位） |

#### 原則1 業績評価指標の得点及びその根拠 - 該当しない場合は削除。

*審査機関は、報告書の業績評価指標の得点表に、各評価項目または各業績評価指標について十分な根拠を含めることができ、また採点基準（SG）を参照しなければならない。参照は、ハイパーリンク、引用、定量的情報の提出の形で行うことができる。審査機関は、報告書に不足している情報がある場合には、それを明確にしなければならない。*

*採点の必要のない業績評価指標、または標準得点が適用される業績評価指標については、審査機関は関連する得点表にその旨を記録しなければならない。*

*業績評価指標の採点にリスクに基づいた審査枠組み（RBF）が使用された場合、審査機関は報告書にその使用の正当性を含めるべきであり、関連するRBFのアウトプット表には得点と根拠を含めることができる。*

*追加の得点表を使用することが可能であり、修正した審査ツリーについては、「PI2.5.2 – 修正」のような形で明記しなければならない。*

###### PI 1.1.1 資源状態

| **PI 1.1.1** | 資源は高い繁殖性を維持し、加入乱獲の可能性が低い |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 加入の損害に比較した資源状態 |
| 基準 | 資源は、加入が損なわれるレベルより上の可能性が高い。  | 資源は、加入が損なわれるレベルより上にある可能性がかなり高い。  | 資源は、加入が損なわれるレベルより上にある確実性が高い。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | MSYレベルの達成度に関する資源状態 |
| 基準 |  | 資源はMSYレベル、あるいはそれに近いレベルで変動している。  | 資源は近年、MSYレベル周辺を変動、あるいはそれを上回っている確実性が高い。  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |
| --- |
| **管理基準値に関連した資源状態** |
|  | 管理基準値のタイプ | 管理基準値 | 管理基準値に関連した現在の資源状態 |
| PRI (SIa) に関連した資源の採点で使用する管理基準値 | *管理基準値のタイプを記入**例：BLOSS* | *単位を明記した値を含める**例：資源量5万トン。* | *管理基準値と同じ単位で現在の資源状況を記入**例：9万/ BLOSS = 1.8* |
| MSY(SIb) に関連した資源の採点で使用する管理基準値 | *管理基準値のタイプを記入**例：BMSY* | *単位を明記した値を含める**例：資源量10万トン。* | *管理基準値と同じ単位で現在の資源状況を記入**例：9万/ BMSY = 0.9* |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |
| データ不足？（リスクに基づいた審査枠組みが必要） | **はい／いいえ** |

###### PI 1.1.1A 主な低栄養段階種の資源状態 – 該当しない場合は削除

*注：主な低栄養段階種（LTL）の資源にのみ使用すること*

| **PI 1.1.1A** | **資源は、生態系への深刻な影響を与える確率が低いレベルにある。** |
| --- | --- |
| 得点項目 | **SG 60** | 得点項目 | **SG 60** |
| **a** | 生態系が維持できる資源状態 |
| 基準 | 資源は、生態系へ深刻な影響を与えるレベルよりも高い状態にある可能性が高い。  | 資源は、生態系へ深刻な影響を与えるレベルよりも高い状態にある可能性がかなり高い。  | 資源は、生態系へ深刻な影響を与えるレベルよりも高い状態にある確実性が高い。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 生態系のニーズを満たす資源状態 |
| 基準 |  | 資源は、生態系のニーズと合致したレベルにある、もしくはその周辺を変動している。  | 資源は近年、生態系のニーズと合致したレベルの周辺を変動、もしくはそれを上回っている確実性が高い。  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |
| --- |
| **管理基準値に関連した資源状態** |
|  | 管理基準値のタイプ | 管理基準値 | 管理基準値に関連した現在の資源状態 |
| 加入の損害（SI a）に関連した資源の採点で使用する管理基準値 | *管理基準値のタイプを記入**例：B35%。* | *単位を明記した値を含める**例：資源量5万トン* | *管理基準値と同じ単位で現在の資源状況を記入**例：9万/ B35% = 1.8.* |
| 生態系のニーズ（SIb）に関連した資源の採点で使用する管理基準値 | *管理基準値のタイプを記入**例：B75%。* | *単位を明記した値を含める**例：資源量10万トン。* | *管理基準値のタイプを記入**例：B75%。* |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 1.1.2 資源の回復

| **PI 1.1.2** | 資源状態が悪化している場合、ある一定期間内に資源が回復した証拠がある。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 資源回復の時間枠 |
| 基準 | 資源回復の時間枠は、20年以内、もしくは2世代分の期間内のいずれか短い方と定められている。2世代分の期間が５年未満である場合、回復期間は５年までとする。 |  | 資源の1世代を超えない、最も期間が短い実現可能な回復策の時間枠が定められている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** |  | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 回復の評価 |
| 基準 | 指定された時間枠内での資源回復に有効な計画かを判断するためのモニタリングが実施されている。  | 資源回復計画により、資源が回復していることを示す証拠がある、もしくはシミュレーション・モデリング、漁獲率、過去の実績から、指定された時間枠内に資源を回復させられる可能性が高い。  | 資源回復計画により、資源が回復していることを示す確固たる証拠がある、もしくはシミュレーション・モデリング、漁獲率、過去の実績から、指定された時間枠内に資源を回復させられる可能性がかなり高い。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 1.2.1 漁獲戦略

| **PI 1.2.1** | 信頼性の高い、予防的な漁獲方策が講じられている |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 漁獲戦略の立案 |
| 基準 | 漁獲戦略により、PI 1.1.1 /PI 1.1.1A SG80を満たす資源管理目標を達成することが期待できる。  | 漁獲戦略は、資源状態と連動しており、その各要素は、PI 1.1.1 /PI 1.1.1A SG80を満たす管理目標の達成に向け、相乗的に働く。  | 漁獲戦略は、資源状態と連動しており、PI 1.1.1 /PI 1.1.1A SG80を満たす管理目標を達成するために設計されたものである。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 | *審査機関は審査チームがPI 1.1.1またはPI 1.1.1Aのどちらを採点したかを含め、各採点基準（SG）に対するチームの結論を裏付けるのに十分な根拠を記述する。* |
| **b** | 漁獲戦略の評価 |
| 基準 | 実績や妥当な論拠に基づき、漁獲戦略が成功する可能性が高い。  | 漁獲戦略はテストされ、PI 1.1.1/ PI 1.1.1A SG80を満たす目標を達成することが期待されている、もしくはPI 1.1.1/ PI 1.1.1A SG80を満たす目標を達成しつつあるという証拠がある。  | 漁獲戦略の業績は徹底的に評価され、明らかに目標管理基準値付近の資源状態を維持できることを含む、PI 1.1.1/ PI 1.1.1A SG80を満たす目標を達成しつつある証拠がある。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 漁獲戦略のモニタリング |
| 基準 | 漁獲戦略が効果的かどうかを判断するためのモニタリングが導入されている。 |  |  |
| 適合 | **はい／いいえ** |  |  |
| 根拠 |  |
| **d** | 漁獲戦略のレビュー |
| 基準 |  |  | 漁獲戦略は定期的に見直され、必要に応じて改善されている。 |
| 適合 |  |  | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **e** | シャーク・フィニング |
| 基準 | サメのヒレ切りが行われていない確実性が高い。 |  |  |
| 適合 | **はい／いいえ** |  |  |
| 根拠 | *サメが対象魚種ではない場合、評価項目を採点する必要はない。* |
| **f** | 代替措置の検討 |
| 基準 | UoAによる、対象資源の不要漁獲物の死亡を、最小限に抑えるための代替措置の検討が行われている。 | UoAによる、対象資源の不要漁獲物の死亡を、最小限に抑えるための代替措置の検討が5年毎に行われ、当該措置が適切に実施されている。 | UoAによる、対象資源の不要漁獲物の死亡を、最小限に抑えるための代替措置の検討が2年毎に行われ、当該措置が適切に実施されている。 |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 1.2.2 漁獲制御ルール及び手段

| **PI 1.2.2** | 明確に定義された、効果的な漁獲制御ルール（HCR）が存在する。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 漁獲制御ルールの立案及び適用 |
| 基準 | 一般的に理解されている漁獲制御ルールが講じられており、加入が損なわれる基準（PRI）に近づいたときに漁獲率を下げることが期待されている。 | 明確な漁獲制御ルールが存在し、PRIに近づいたときに漁獲率を確実に下げ、資源状態をMSYに相当するレベル（もしくはそれ以上のレベル）または主要LTL種の場合、生態系のニーズに相当するレベルで変動させる働きがある。 | 漁獲制御ルールは、資源状態をMSY、あるいは資源の生態的役割を考慮にいれた、より適切なレベルと同等、もしくそれ以上のレベルで変動させる働きが殆ど常にある。 |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 漁獲制御ルールの堅牢性 |
| 基準 |  | 漁獲制御ルールは、主な不確実要素に対して堅牢である可能性が高い。 | 漁獲制御ルールは、資源の生態学的役割を含む多様な不確実要素を考慮に入れており、漁獲制御ルールが主な不確実要素に対して堅牢であることを示す証拠がある。 |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 漁獲制御ルールの評価 |
| 基準 | 漁獲制御ルールで利用されるもしくは利用可能な手段は漁獲規制に適切で効果的であるという証拠がいくつかある。 | 漁獲制御ルールで求められている漁獲レベルを達成するため、適切で効果的な手段が実施されていることが入手可能な証拠によって示されている。 | 漁獲制御ルールで求められている漁獲レベルを達成するため、適切で効果的な手段が実施されているという明確な証拠がある。 |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 1.2.3 情報とモニタリング

| **PI 1.2.3** | 漁獲戦略を裏付ける関連情報が収集されている。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 情報の範囲 |
| 基準 | 漁獲戦略を裏付けるため、資源構造や生産性、船団構成などの関連情報がいくらか収集されている。 | 漁獲戦略を裏付けるため、資源構成、生産性、船団構成及びその他の関連情報が十分収集されている。 | 現行の漁獲戦略に直接関連のない情報をも含む（資源構成や生産性、船団構成、資源の豊かさ、UoAの捕獲量や環境に関する情報などについての）包括的な情報を入手することができる。 |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | モニタリング |
| 基準 | 資源の豊かさやUoAによる漁獲量がモニタリングされ、漁獲制御ルールを裏付けるために少なくとも一つの指標が適切な頻度でモニタリングされている。 | 漁獲制御ルールで定められている精度及び範囲で、資源の豊かさやUoAによる漁獲量が定期的にモニタリングされ、漁獲制御ルールを裏付けるために少なくとも一つ以上の指標が適切な頻度でモニタリングされている。 | 漁獲制御ルールを実施するために必要なすべての情報が頻繁に、確実性が高い方法でモニタリングされ、情報に潜在的な不確実性があることがよく理解されており、そうした不確実性に対する堅牢性の高い評価と管理が行われている。 |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 情報の包括性 |
| 基準 |  | 同資源の対象漁業以外の漁獲に関しても充実した情報がある。 |  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** |  |
| Rationale根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 1.2.3R 情報とモニタリング（PI 1.1.1の採点にRBFを使用した場合） – 該当しない場合は削除

*注：UoAのPI 1.1.1の採点にRBFを適用した場合にのみ使用する（MSC漁業認証規格ツールボックス第1.0版　表A2）。*

| **PI 1.2.3R** | 漁獲戦略をサポートするために、関連する情報が収集されている。  |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 情報の範囲 |
| 基準 | 漁獲戦略をサポートするために、consequence analysis (CA)と対象種の生産性と感受性の属性に関連する**いくつか**の関連情報が利用可能である。 | 漁獲戦略をサポートするために、CAと対象種の生産性と感受性の属性に関連する**十分な**関連情報が利用可能である。 | 現在の漁獲戦略に直接関係しないものも含め、包括的な範囲の情報（資源構造、資源生産性、船団構成、資源量、UoAによる捕獲、環境情報といった情報）が利用可能である。 |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | モニタリング |
| 基準 | 資源量とUoAによる捕獲がモニタリングされ、少なくとも1つの指標が利用可能で、漁獲戦略をサポートするのに十分な頻度でモニタリングされている。 | 資源量とUoAによる捕獲量は、漁獲戦略に合致した正確さと範囲レベルで定期的にモニタリングされ、1つ以上の指標が利用可能で、漁獲戦略をサポートするために十分な頻度でモニタリングされている。 | 漁獲戦略に必要なすべての情報は高い頻度と高い確実性でモニタリングされ、情報（データ）の不確実性と、この不確実性に対処するための評価と管理の頑健性についてよく理解されている。 |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 情報の包括性 |
| 基準 |  | 他のすべての漁業による資源の捕獲について、優れた情報がある。 |  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** |  |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 1.2.4 資源状態の評価

| **PI 1.2.4** | 資源状態について十分な評価が行われている |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 資源評価の適切さ |
| 基準 |  | 資源評価は、資源及び漁獲戦略にとって適切である。  | 資源評価は、魚種の生態学的特性やUoAの特徴に関連する主要な要素を考慮に入れている。  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 資源評価のアプローチ |
| 基準 | 資源評価は、魚種の分類群に適した一般的な管理基準値と関連した資源状態を推定している。  | 資源評価は、資源に適した、推定可能な管理基準値と関連した資源状態を推定している。  |  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |  |
| 根拠 |  |
| **c** | 資源評価の不確実性 |
| 基準 | 資源評価は、主な不確実性の原因を明らかにしている。  | 資源評価は、不確実性を考慮に入れている。  | 資源評価は、不確実性を考慮にいれ、確率的な方法で管理基準値と比較した資源状態を査定している。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **d** | 資源評価の査定 |
| 基準 |  |  | 資源評価は分析され、堅牢であることが示されている。代替的な仮説や資源評価のアプローチの検討も徹底的に行われている。 |
| 適合 |  |  | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **e** | 資源評価のピアレビュー |
| 基準 |  | 資源評価はピアレビューされる。  | 資源評価は内外のピアレビューを受けている。  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

### 原則2

#### 原則2 背景

##### 追加の小見出し（任意）

*審査機関は、以下のトピックに基づいた審査単位（UoA）の概要を、使用した電子文書やその他の文書を参照して報告書に含めることができる：*

* *水圏生態系、その状態、およびUoAに影響を与える、または影響を受ける特に繊細な地域、生息域、あるいは生態系の特徴。*
* *認証適用範囲内の混獲種、認証適用範囲外の混獲種、ETP種の状況と関連する管理履歴。*
* *具体的な制約、例えば、不要漁獲物についての詳細、その種の保全状態、及びこれを最小限に抑えるための適切な措置。*
* *原則2の業績評価指標について累積的影響を考慮する必要がある場合、それにどのように対処したのか、つまり、他のどのMSCのUoA／漁業がどのような累積的影響を考慮したかについての概要を報告書に含めるべきである。*

*審査機関は、得点表内の根拠の裏付けとなるすべての情報を提供するべきである。*

*審査機関は、MSC漁業認証規格原則2のセクションにおいて、評価項目に採点要素がどのように割り当てられたのかを正当化する情報を背景に含めることができる。審査チームは、この情報を提示するために、以下の表を修正してもよい。審査機関は、すべての主な認証適用範囲内の混獲種及び主なETP/OOS種の漁獲量とUoAに関連する死亡率を、データの適切性、使用したデータソース、データが定性的か定量的かの記述とともに報告書に含めることができる。*

*参照：漁業認証規格第3.0版 SA3.1.2、 SA3.1.5及び図SA3の決定補助ツリー*

表9：採点要素

| 構成要素／資源 | 採点要素 | 指定 | データ不足 |
| --- | --- | --- | --- |
| *例：認証適用範囲内の**混獲種* | *例：魚種または資源（SA3.1.2.6）* | *主要／マイナー* | *いいえ／はい* |
| *例：ETP/OOS種* | *例：ETP/OOS種ユニットｘ（SA3.8.1）* | *該当しない* | *いいえ／はい* |
| *例：生息域* | *例：感受性がより低い／より高い生息域ｘ（SA3.11.3）* | *該当しない* | *いいえ／はい* |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

#### 原則2 業績評価指標の得点および根拠

###### PI 2.1.1 認証適用範囲内の混獲種に関する結果

| **PI 2.1.1** | UoAは適用範囲内の混獲種を 加入が損なわれるレベル(PRI)より上を維持することを目標とし、PRIに満たない場合には適用範囲内の混獲種の回復を妨げていない。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 主な適用範囲内の混獲種の資源状態 |
| 基準 | 主な適用範囲内の混獲種の資源状態は、PRIレベルより上にある可能性が高い。 または、 その種がPRIに満たない場合、UoAは資源の回復と再建を妨げていない可能性が高い。 | 主な適用範囲内の混獲種の資源状態は、PRIレベルより上にある可能性がかなり高い。または、その種がPRIに満たない場合、回復の証拠がある、またはUoAが資源の回復と再建を妨げていない可能性がかなり高い。 | 主な適用範囲内の混獲種はMSYレベル付近で変動している確実性が高い。 |
| 適合 | **はい／いいえ／該当しない** | **はい／いいえ／該当しない** | **はい／いいえ／該当しない** |
| 根拠 | 表10：採点要素

| **採点要素** | **指定** | **得点** | **根拠** |
| --- | --- | --- | --- |
| *例：魚種もしくは資源* *(SA 3.1.1.1)* | *主要／マイナー* | *例：60, 80, 100* | *各採点基準（SG）について、審査チームの結論を裏付ける根拠* |

 |
| **b** | その他の適用範囲内の混獲種の資源状態 |
| 基準 |  |  | その他の適用範囲内の混獲種は資源状態がPRIレベル以上である可能性がかなり高いまたはPRIに満たないその他の適用範囲内の混獲種の場合、UoAがその資源の回復と再建を妨げていない証拠がある。 |
| 適合 |  |  | **はい／いいえ／該当しない** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |
| データ不足？（リスクに基づいた審査枠組みが必要） | **はい／いいえ** |

###### PI 2.1.2 認証適用範囲内の混獲種の管理戦略

| **PI 2.1.2** | 適用範囲内の混獲種を維持、もしくは回復を妨げないための戦略が講じられている。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 管理戦略が講じられている |
| 基準 | 「適用範囲内の混獲種の結果PI」がSG60を満たすレベルで、主な適用範囲内の混獲種を維持、もしくはその回復を妨げないことが期待できる措置が、必要に応じてUoAで講じられている。  | 「適用範囲内の混獲種の結果PI」がSG80を満たすレベルで、主な適用範囲内の混獲種の部分的な管理戦略がUoAで講じられている。または、「適用範囲内の混獲種の結果PI」がSG80に満たない場合、この種を主な適用範囲内の混獲種に分類する全ての MSC UoA の累積的影響が確実に回復を妨げない、明らかに効果的な戦略が講じられている。  | 「適用範囲内の混獲種の結果PI」がSG80を満たすレベルで、主な適用範囲内の混獲種およびその他の適用範囲内の混獲種の管理戦略がUoAで講じられている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 管理戦略の効果 |
| 基準 | その措置は、必要に応じて、妥当な論拠に基づき、主な適用範囲内の混獲種に対して効果を上げる可能性が高いと考えられる。  | UoA及び／あるいは、関係する種に関する直接的な情報から判断して、措置・部分的な戦略が必要に応じて、評価項目(a)で示された主な適用範囲内の混獲種の目標を達成していることを示す何らかの証拠がある。  | UoA及び／あるいは、関係する種に関する直接的な情報から判断して、部分的な戦略／戦略が評価項目(a)で示された目標を達成している証拠がある。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 代替措置の検討 |
| 基準 | UoAが関連する主な適用範囲内の混獲種の不要漁獲による死亡を最小限に抑えるための代替措置が検討されている。  | UoAが関連する主な適用範囲内の混獲種の不要漁獲による死亡を最小限に抑えるための代替措置の検討が、少なくとも 5年毎に行われ、適切に実施されている。  | UoAが関連する全ての適用範囲内の混獲種の不要漁獲による死亡を最小限に抑えるための代替措置の見直しが、2年毎に行われ、適切に実施されている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **d** | サメのヒレ切り（シャークフィニング） |
| 基準 | サメのヒレ切りが行われていない確実性が高い。 |  |  |
| 適合 | **はい／いいえ／該当しない** |  |  |
| 根拠 | *認証適用範囲内の混獲種にサメが含まれない場合は、放流される場合も含めて、評価項目を採点する必要はない。* |
| **e** | 流出漁具（ゴーストギア）の管理戦略 |
| 基準 | UoAは、必要に応じて、流出漁具とそのすべての適用範囲内の混獲種への影響を最小限に抑えることが期待される措置を講じている。  | UoAは、必要に応じて、流出漁具とそのすべての適用範囲内の混獲種への影響を最小限に抑えることが期待される部分的戦略を講じている。  | UoAは、必要に応じて、流出漁具とそのすべての適用範囲内の混獲種への影響を最小限に抑えることが期待される戦略を講じている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 | *ETP/OOS種について同等の流出漁具のSIが採点されない場合にのみ、この評価項目を採点する。* |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 2.1.3 認証適用範囲内の混獲種の情報

| **PI 2.1.3** | UoAが適用範囲内の混獲種に与える影響、及び講じられている管理措置もしくは戦略の有効性を判断するための情報は十分である |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 主な適用範囲内の混獲種への影響評価のための情報の十分さ |
| 基準 | UoAが主な適用範囲内の混獲種の資源状態に及ぼす影響を広義に理解するための情報は十分にある。  | UoAが主な適用範囲内の混獲種の資源状態に及ぼす影響を高い精度で推定するための情報は十分にある。  | UoAが主な適用範囲内の混獲種の資源状態に与える影響を非常に高い精度で推定するための情報は十分にある。  |
| 適合 | **はい／いいえ／該当しない** | **はい／いいえ／該当しない** | **はい／いいえ／該当しない** |
| 根拠 |  |
| **b** | その他の適用範囲内の混獲種への影響評価のための情報の十分さ |
| 基準 |  |  | UoAがその他の適用範囲内の混獲種の資源状態に与える影響を高い精度で推定するための情報は十分にある。 |
| 適合 |  |  | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 管理戦略を評価するための情報の十分さ |
| 基準 | 主な適用範囲内の混獲種の管理措置をサポートする情報は十分である。  | 主な適用範囲内の混獲種を管理するための部分的な戦略をサポートする情報は十分である。  | すべての適用範囲内の混獲種を管理するための戦略をサポートし、戦略が目的を達成しているかどうかを高い確実性で評価するための情報は十分である。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 2.1.3R 適用範囲内の混獲種の情報（PI 2.1.1の採点にRBFが適用された場合） – 該当しない場合は削除

*注：UoAのPI 2.1.1の採点にRBFを適用した場合にのみ使用する*

*（MSC漁業認証規格ツールボックス第1.0版　表A3）*

| **PI 2.1.3R** | 捕獲された適用範囲内の混獲種の性質と量に関する情報は、UoAがもたらすリスクと適用範囲内の混獲種を管理する戦略の有効性を判断するのに十分である。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 主要な適用範囲内の混獲種への影響評価のための情報の妥当性 |
| 基準 | 定性的な情報は、主な適用範囲内の混獲種の生産性と感受性の特性を推定するのに十分である。 | .主な適用範囲内の混獲種の生産性や感受性の特性を評価するのに十分な定量的情報がいくらかある。 |  |
| 適合 | **はい／いいえ／該当しない** | **はい／いいえ／該当しない** | **はい／いいえ／該当しない** |
| 根拠 |  |
| **b** | その他の適用範囲内の混獲種への影響評価のための情報の妥当性 |
| 基準 |  |  | UoA がその他の適用範囲内の混獲種の資源状態に与える影響を**推定する**のに十分な定量的情報がいくらかある。 |
| 適合 |  |  | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 管理戦略のための情報の妥当性 |
| 基準 | **主な**適用範囲内の混獲種を管理するための**措置**をサポートする情報は十分にある。 | **主な**適用範囲内の混獲種を管理するための**部分的な戦略**をサポートする情報は十分にある。 | **すべての**適用範囲内の混獲種を管理するための**戦略**をサポートし、戦略が目的を達成しているかどうかを**高い確実性**で評価するための情報は十分にある。 |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 2.2.1 ETP/OOS種結果

| **PI 2.2.1** | UoAの直接的な影響は、ETP/OOSが良好な保全状態へ回復することを妨げない。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 直接的な影響 |
| 基準 | UoAの直接的な影響は、ETP/OOSが良好な保全状態まで回復することを妨げる可能性は低い。  | UoAの直接的な影響は、ETP/OOSが良好な保全状態まで回復することを妨げる可能性は極めて低い。  | UoAの直接的な影響は、ETP/OOSが良好な保全状態まで回復することを妨げない確実性が高い。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |
| データ不足？（リスクに基づいた審査枠組みが必要） | **はい／いいえ** |

###### PI 2.2.2 ETP/OOS種管理戦略

| **PI 2.2.2** | UoAには以下を目的とする予防的な管理戦略が講じらている。- ETP/OOSの偶発的な捕獲が最小限に抑えられ、可能であれば皆無である。- UoA が良好な保全状態への回復を確実に妨げないようにする。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 管理戦略が講じられている |
| 基準 | ETP/OOSのUoA関連死亡数を最小限に抑え、ETP/OOS種の結果PIがSG80レベルとなることが期待される措置が必要に応じて講じられている。  | ETP/OOSのUoA関連死亡数を最小限に抑え、ETP/OOS種の結果PIがSG80レベルとなることが期待される戦略が、必要に応じて講じられている。  | ETP/OOSのUoA関連死亡数を最小限に抑え、ETP/OOS種の結果PIがSG80レベルとなることが期待される包括的な戦略が、必要に応じて講じられている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 管理戦略の有効性 |
| 基準 |  | 措置、戦略、もしくは包括的戦略により、ETP/OOSの死亡数を減少または最小限に抑えていることを示す証拠がある。 |  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** |  |
| 根拠 |  |
| **c** | ETP/OOSの死亡数を最小限に抑えるための代替措置の検討 |
| 基準 |  | ETP/OOSのUoA関連死亡数を最小限に抑えるための代替措置の検討が、少なくとも5年に1回行われ、ETP/OOSに対して適切に実施されている。  | ETP/OOSのUoA関連死亡数を最小限に抑えるための代替措置の検討が2年ごとに行われ、ETP/OOSに対して適切に実施されている。  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **d** | サメのヒレ切り |
| 基準 | サメのヒレ切りが行われていない確実性が高い。 |  |  |
| 適合 | **はい／いいえ／該当しない** |  |  |
| 根拠 | *認証適用範囲内の混獲種にサメが含まれない場合は、放流される場合も含めて、評価項目を採点する必要はない。* |
| **e** | 漁具流出の管理戦略 |
| 基準 | UoAは、漁具流出及び流出漁具によるETP/OOSへの影響を最小限に抑えることが期待される措置を、必要に応じて講じている。  | UoAは、漁具流出及び流出漁具によるETP/OOSへの影響を最小限に抑えることが期待される部分的な戦略を、必要に応じて講じている。  | UoAは、漁具流出及び流出漁具によるETP/OOSへの影響を最小限に抑えることが期待される戦略を、必要に応じて講じている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 | *ETP/OOSの採点要素がある場合にのみ、この評価項目を採点する（SA3.9.5.b）。* |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 2.2.3 ETP/OOS種に関する情報

| **PI 2.2.3** | UoAがETP/OOSに与える影響と、講じられている管理措置もしくは戦略の有効性を判断するための情報は十分である。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 影響評価のための情報の十分さ |
| 基準 | UoAがETP/OOSに与える影響を広義に理解するのに十分な情報がある。  | UoAがETP/OOSに与える影響を推定し、UoAがその回復を脅かす可能性があるかどうかを高い精度で推定するために十分な情報がある。  | UoAがETP/OOSに与える影響を推定し、UoAがその回復を脅かす可能性があるかどうかを、非常に高い精度で推定するための情報が十分にある。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 管理戦略のための情報の十分さ |
| 基準 | ETP/OOSへの影響を管理するための措置をサポートするのに十分な情報である。  | ETP/OOSへの影響を管理するための戦略をサポートし、また、死亡数を最小限に抑えるための措置の有効性評価にあたり、傾向を測定するために十分な情報である。  | ETP/OOSへの影響を管理するための包括的戦略をサポートし、また、死亡数を最小限に抑えるための措置の有効性を高い確実性で評価するための情報は十分である。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 2.2.3R ETP/OOS種に関する情報（PI 2.2.1の採点にRBFが適用された場合） – 該当しない場合は削除

*注：UoAのPI 2.2.1の採点にRBFを適用した場合にのみ使用する*

*（MSC漁業認証規格ツールボックス第1.0版　表A4）*

| **PI 2.2.3R** | **ETP/OOSユニットに対するUoAの影響の管理をサポートするために、以下を含む関連情報が収集されている。*** **管理戦略策定のための情報**
* **管理戦略の有効性を評価するための情報**
* **ETP/OOSユニットの結果状態を判断するための情報**
 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 影響評価のための情報の妥当性 |
| 基準 | 定性的な情報は、ETP/OOSユニットの生産性と感受性の特性を推定するのに十分である。 | ETP/OOSユニットの生産性や感受性の特性を評価するのに十分な定量的情報がいくらかある。 |  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |  |
| 根拠 |  |
| **b** | 管理戦略のための情報の妥当性 |
| 基準 | ETP/OOSユニットへの影響を管理するための措置をサポートする情報は十分にある。 | 情報は、ETP/OOSユニットへの影響を管理する戦略をサポートし、死亡率を最小限に抑える措置の有効性を評価するための傾向を測定するのに十分である。 | ETP/OOSユニットへの影響を管理するための包括的戦略をサポートし、死亡率を最小限に抑えるための措置の有効性を高い確実性で評価するための情報は十分である。 |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 2.3.1 生息域結果

| **PI 2.3.1** | **T**漁業管理機関の管轄内における生息域において、UoAは生息域の構造および機能に深刻、あるいは不可逆的な被害を及ぼしていない。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 感受性がより低い生息域 |
| 基準 | UoAが、感受性がより低い生息域の構造および機能を深刻、あるいは、不可逆的な被害を及ぼすレベルにまで低下させる可能性は低い。  | UoAが、感受性がより低い生息域の構造および機能を深刻、あるいは、不可逆的な被害を及ぼすレベルにまで低下させる可能性は極めて低い。  | UoAが、感受性がより低い生息域の構造および機能を深刻、あるいは、不可逆的な被害を及ぼすレベルにまで低下させる可能性は極めて低い、という証拠がある。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 感受性がより高い生息域 |
| 基準 | UoAが、感受性がより高い生息域を、深刻、あるいは、不可逆的な被害を及ぼすレベルにまでVME生息域の構造や機能を低下させる可能性は低い。  | UoAが、感受性がより高い生息域を、深刻、あるいは、不可逆的な被害を及ぼすレベルにまでVME生息域の構造や機能を低下させる可能性は極めて低い。  | UoAが、感受性がより高い生息域を、深刻、あるいは、不可逆的な被害を及ぼすレベルにまでVME生息域の構造や機能を低下させる可能性が極めて低いという証拠がある。  |
| 適合 | **はい／いいえ／該当しない** | **はい／いいえ／該当しない** | **はい／いいえ／該当しない** |
| 根拠 | *「感受性がより高い生息域」がない場合、この評価項目は採点しなくてよい。* |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |
| データ不足？（リスクに基づいた審査枠組みが必要） | **はい／いいえ** |

###### PI 2.3.2 生息域の管理戦略

| **PI 2.3.2** | UoAが生息域に深刻、あるいは不可逆的な被害を与えるリスクがないことを確実にするための戦略が講じられている。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 講じられている管理戦略 |
| 基準 | 生息域の結果状況のPIでSG80以上を達成することが期待される措置が、必要に応じて講じられている。  | 生息域の結果状況のPIでSG80以上を達成することが期待される部分的戦略が、必要に応じて講じられている。  | MSC、非MSCを問わず、すべての漁業による生息域への影響を管理する戦略が講じられている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 管理戦略の評価 |
| 基準 | 措置は、妥当な論拠から判断して、効果をあげる可能性が高いと考えられる。  | UoAおよび／あるいは、UoAが関わる生息域に関する直接的な情報から判断して、措置／部分的戦略がSI(a)で設定されている目標達成しているという証拠がある程度ある。  | UoAおよび／あるいは、UoAが関わる生息域に関する直接的な情報から判断して、部分的な戦略／戦略が、SI（a）で設定された目的を達成しているという証拠がある。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 管理に関する要求事項およびその他のMSC UoA/非MSC漁業による感受性がより高い生息域保護措置の遵守 |
| 基準 | 感受性がより高い生息域を保護するための管理に要求される事項をUoAが遵守していることを広義に理解するのに適切な情報がある。  | 感受性がより高い生息域に対して他の MSC UoA／ 非MSC 漁業が講じている管理に関する要求事項及び、保護措置の両方（該当する場合）をUoA漁業が準拠していることを、高い精度で確認するための情報が適切である。  | 感受性性がより高い生息域に対して他の MSC UoA／ 非MSC 漁業が講じているの管理に関する要求事項及び、保護措置の両方（該当する場合）をUoA漁業が準拠していることを、非常に高い精度で確認するための情報が適切である。  |
| 適合 | **はい／いいえ／該当しない** | **はい／いいえ／該当しない** | **はい／いいえ／該当しない** |
| 根拠 | *「感受性がより高い生息域」がない場合、評価項目は採点しなくてよい（SA3.11.3）。* |
| **d** | 漁具流出の管理戦略 |
| 基準 | UoAは、必要に応じて、漁具流出及びすべての生息域に対する流出漁具の影響を最小限に抑えることが期待される措置を講じている。  | UoAは、必要に応じて、漁具流出及びすべての生息域に対する流出漁具の影響を最小限に抑えることが期待される部分的戦略を講じている。  | UoAは、必要に応じて、漁具流出及びそのすべての生息地に対する影響を最小限に抑えることが期待される、戦略を講じている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 2.3.3 生息域の情報

| **PI 2.3.3** | UoAが及ぼすリスクの経時的変化を含め、UoAが生息域に与える影響を判断するための情報は十分にある。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 情報の質 |
| 基準 | 主な生息域の形態と分布は、広義に理解されている。  | UoAの操業域内の主な生息域の特徴、分布および脆弱性が、UoAの規模と複雑さに見合うレベルの詳しさで把握されている。  | 操業域内のすべての生息域の分布が知られており、特に脆弱な生息域がどこにあるかが把握されている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 影響を評価する為に必要な情報の適切性。 |
| 基準 | 生息域と漁具の空間的な重複など、漁具の使用による主な生息域への影響に対する広義の理解に必要な情報が十分にある。  | 生息域へのUoAの主な影響を高い精度で推定するための情報は十分である。  | UoAが生息地に与える影響を非常に高い精度で推定するための情報は十分である。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | モニタリング |
| 基準 |  | 生息域へのリスクの上昇を検知するために必要な情報が継続的に収集されている。  | 時間の経過による生息域の分布変化が、観測されている。  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 2.3.3R 生息域の情報（PI 2.3.1の採点にCSAが適用された場合） – 該当しない場合は削除

*注：UoAのPI 2.3.1の採点にRBFを適用した場合にのみ使用する（MSC漁業認証規格ツールボックス第1.0版　表A5）。*

| **PI 2.3.3R** | UoAが生息域にもたらすリスクと、生息域への影響を管理するための戦略の有効性を判断するための情報は十分である |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 情報の質 |
| 基準 | 生息域の種類や分布を推定するための定性的情報は十分である。 | いくつかの定量的な情報があり、生息域の種類や分布を推定するのに十分である。 | 操業区域における生息域の分布が把握されており、特に脆弱な生息域に対して注意が払われている。 |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 影響評価のための情報の妥当性 |
| 基準 | 生息域の結果及び空間的属性を推定するための定性的情報は十分である。 | いくつかの定量的な情報は利用可能で、生息域の結果及び空間的属性を推定するのに十分である。 |  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | **モニタリング** |
| 基準 |  | 生息域へのリスクの増加を検出するために、十分な情報を収集し続けている。 | 生息域の分布の経年変化を測定している。 |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 2.4.1 生態系結果

| **PI 2.4.1** | UoAは、生態系構造と機能の基盤となる主要な要素に深刻、あるいは不可逆的な被害を及ぼさない。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 生態系の状態 |
| 基準 | UoAが、生態系の構造や機能の基盤となる主要な要素に、深刻な、あるいは不可逆的な被害を及ぼすほどの影響を与える可能性は低い。 | UoAが、生態系の構造や機能の基盤となる主要な要素に、深刻な、あるいは不可逆的な被害を及ぼすほどの影響を与える可能性は極めて低い。 | UoAが、生態系の構造や機能の基盤となる主要な要素に、深刻な、あるいは不可逆的な被害を及ぼすほどの影響を与える可能性は極めて低い、という証拠がある。 |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 | *評価を行った「主要な生態系要素」のリスト／詳細（SA3.14.3-SA3.14.4, GSA3.14.4）* |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |
| データ不足？（リスクに基づいた審査枠組みが必要） | **はい／いいえ** |

###### PI 2.4.2 生態系管理戦略

| **PI 2.4.2** | 生態系の構造や機能に深刻な、あるいは不可逆的な被害を与えるリスクが確実にないようにするための措置が講じられている。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 講じられている管理戦略 |
| 基準 | 生態系の構造と機能の基盤となる主要な要素に対するUoAの潜在的な影響を考慮した措置が、必要に応じて講じられている。  | 生態系結果のPIで SG80レベルを達成することが期待される部分的戦略が、必要に応じて講じられている。  | 生態系の構造と機能の基盤となる主な要素に対するUoAの影響を管理するための戦略が講じられている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 管理戦略の有効性 |
| 基準 | 必要に応じた措置は、妥当な論拠から判断して、効果を上げる可能性が高いと考えられる。  | UoAおよび／もしくは対象の生態系に関する直接的な情報に基づき、必要に応じた措置／部分的戦略が、評価項目(a)で示された目標を達成していることを示す証拠がある程度ある。  | UoA及び／もしくは生態系に関する直接的な情報に基づき、部分的戦略／戦略が、評価項目(a)で示された目標を達成していることを示す証拠がある。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 2.4.3 生態系情報

| **PI 2.4.3** | 生態系及びUoAが主な生態系要素に及ぼす主な影響についての知識が十分にある。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 情報の質 |
| 基準 | 生態系の主な要素を識別するのに十分な情報がある。  | 生態系の主な要素を広く理解するに十分な情報がある。 |  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |  |
| 根拠 |  |
| **b** | UoAの影響調査 |
| 基準 | 生態系の主となる要素に対するUoAの主な影響については、既存の情報から推測することができる。  | 生態系の主となる要素に対するUoAの主な影響については、詳細な調査が行われている。  | UoAと生態系要素との主な相互作用については、詳細な調査が行われている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 構成要素（すなわち、P1対象種、適用範囲内の混獲種及びETP/OOS種、生息域）の機能理解 |
| 基準 |  | 生態系の構成要素の主な機能は知られている。  | 構成要素に対するUoAの影響は特定され、生態系におけるこれらの構成要素の主な機能が理解されている。  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **d** | モニタリング |
| 基準 |  | リスクの上昇を検知するため、十分なデータが継続的に収集されている。  | 生態系への影響を管理するための戦略の開発を支えるだけの十分な情報がある。  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

### 原則3

#### 原則3 背景

##### 追加の小見出し（任意）

*審査機関は、以下のトピックに基づいたUoAと審査対象漁業の管理システムの概要を報告書に記載することができる：*

* *UoAの操業地域及びどの管轄下にあるか。*
* *UoAに関心を持つ公認団体の詳細。*
* *管理計画の策定に至る協議の詳細。*
* *漁業内で進行中の論争の詳細。*
* *利害関係団体との進行中の協議の手配。*
* *UoAに影響を与える可能性のある、MSC認証漁業以外の漁業者または活動に関する詳細と、連絡及び調整についての取り決め。*
* *承認された参加者を含めた意思決定プロセスの詳細。*
* *漁業の目的（該当する場合、以下のいずれかまたはすべてについて）：*
	+ *資源*
	+ *環境的*
	+ *生物多様性と生態系*
	+ *技術的*
	+ *社会的*
	+ *経済的*
* *漁業に参加する船団のタイプまたは漁業カテゴリーについての概要。*
* *漁業へのアクセス権を持つ個人または団体についての詳細と、その権利の詳細。*
* *一定の期間内に目的を達成するために、合意された漁業の規制措置についての説明。これには、一般的及び具体的な措置、予防的措置、不測事態に対する計画、緊急決定のメカニズムなどが含まれる。*
* *モニタリング、統制及び監視システムと遵守のための取り決めと責任についての詳細。*
* *これには、不適合を検知するための情報システムについての詳細も含まれる。*
* *利害関係団体のために計画されている教育及び研修についての詳細。*
* *管理計画の次回の見直し及び監査の日程。*

*上記のうちのいくつかは、一般的な性質を持つため、漁業の一般規定（例：国の漁業法）で処理されることがある。その場合には、すべての詳細を繰り返さず、計画の中で参照することができる。ただし、特定の漁業については、具体的な項目や詳細が必要となる場合がある。*

*UoAの原則3への適合を審査するにあたり、審査機関はUoAの管理を管轄する機関を報告書に記すことができる。その際に公式、非公式及び／もしくは慣習的な管理システムについての検討も行わなければならない：*

* *単独機関による管轄*
* *住民および単独機関による管轄*
* *共有資源*
* *跨界性魚類資源*
* *高度回遊性魚種（HMS）*
* *個別の公海における非HMS資源*

*審査機関は、得点の根拠となる情報を得点表に記さなければならない。*

*参照：漁業認証規格第3.0版*

#### 原則3 業績評価指標の得点及び根拠

###### PI 3.1.1 法的及び／もしくは慣習的枠組み

| **PI 3.1.1** | 管理システムは、適切かつ有効な法的及び／もしくは慣習的枠組みの中にあり、－UoAにおいて持続可能な漁業管理を行うことが可能で、－食料あるいは生計のために漁業に依存している人々の法的権利を守るための明確な法や慣習を尊重し、－論争解決のための適切なメカニズムがある。  |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 法や規範と有効な管理との適合性 |
| 基準 | MSCの原則１及び２に則った漁業管理を実現するために有効な国内法体系があり、必要に応じて他の関係者と協力する枠組みがある。  | MSCの原則１及び２に則った漁業管理を実現するために有効な国内法体系があり、必要に応じて組織的かつ有効的な他者との協力が行われている。  | MSCの原則１及び２に則った漁業管理を実現するために有効な国内法体系があり、他の関係者との協力を規定する拘束力のある手続きが存在する。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 論争の解決 |
| 基準 | 法的な論争を解決するメカニズムが管理システムの中にある、もしくは、管理システムはそのようなメカニズムの法的対象である。  | 法的な論争を解決するための透明なメカニズムが管理システムの中にある、もしくは、管理システムはそのようなメカニズムの法的対象であり、それは殆どの問題に有効であると考えられ、UoAの内容に適している。  | 法的な論争を解決するための透明なメカニズムが管理システムの中にある、もしくは、管理システムはそのようなメカニズムの法的対象であり、漁業の内容にも適していて、有効性も既に実証されている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 権利の尊重 |
| 基準 | 管理システムは、食料あるいは生計のために漁業に依存している人々の、明示的に設定または習慣によって確立された法的権利を一般的に尊重する仕組みを有し、それはMSCの原則１及び２の原則の目標に整合するものである。  | 管理システムは、食料あるいは生計のために漁業に依存している人々の、明示的に設定または習慣によって確立された法的権利を遵守する仕組みを有し、それはMSCの原則１及び２の原則の目標に整合するものである。  | 管理システムは、食料あるいは生計のために漁業に依存している人々の、明示的に設定または習慣によって確立された法的権利に対して公式な誓約を掲げる仕組みを有し、それはMSCの原則１及び２の原則の目標に整合するものである。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| Rationale根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 3.1.2 協議、役割及び責任

| **PI 3.1.2** | 管理システムの中に、関心があり、影響を受けるグループに公開されている有効な協議プロセスがある。管理プロセスに関わっている組織や個人の役割や責任が明瞭で、すべての関係当事者が理解している。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 役割及び責任 |
| 基準 | 管理プロセスに関わっている組織や個人が確認されており、その機能、役割、責任がおおよそ理解されている。  | 管理プロセスに関わっている組織や個人が確認されており、機能、役割、責任が明確に定義され、責任と相互作用における主要分野についてよく理解されている。  | 管理プロセスに関わっている組織や個人が確認されており、機能、役割、責任が明確に定義され、責任と相互作用におけるすべての分野についてよく理解されている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 協議プロセス |
| 基準 | 管理システムには、主な当事者から地元の知識など、関連のある情報を入手し、管理システムに役立てる協議プロセスがある。  | 管理システムには、地元の知識を含む関連情報を常時求め、受け入れる協議プロセスがある。管理システムは入手した情報について検討する用意がある。  | 管理システムには、地元の知識を含む関連情報を常時求め、受け入れる協議プロセスがある。管理システムは入手した情報について検討する用意を示し、利用の有無について説明を行っている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 参加 |
| 基準 |  | 協議プロセスでは、関心があり影響を受ける関係当事者全員に参加の機会が与えられている。  | 協議プロセスでは、関心があり影響を受ける関係当事者全員に参加の機会を与え、参加を促すことにより、有効な関わりが推進されている。  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 3.1.3 長期目標

| **PI 3.1.3** | 管理方針の中に、意志決定の指針となる明確な長期目標があり、その目標はMSCの原則と基準に則っており、予防的アプローチが組み込まれている。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | **目標** |
| 基準 | MSCの漁業認証規格及び予防的アプローチに合致した、意思決定の際の指針となる長期目標が、管理方針の中に潜在的に存在している。  | MSCの漁業認証規格及び予防的アプローチに合致した、意思決定の際の指針となる明確な長期目標が、管理方針の中で明示されている。  | MSCの漁業認証規格及び予防的アプローチに合致した、意思決定の際の指針となる明確な長期目標が、管理方針の中で明示され、管理方針により定められている。  |
| 適合 | **はい／いいえ／部分的** | **はい／いいえ／部分的** | **はい／いいえ／部分的** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 3.2.1 審査対象漁業の目標

| **PI 3.2.1** | 審査対象漁業の管理システムは、MSCの原則１及び２で示された結果を達成するために明確で具体的な目標を掲げている。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 目標 |
| 基準 | MSCの原則1及び2で示されたのとほぼ同じような結果を達成するための目標が、審査対象漁業の管理システムの中に潜在的に存在している。  | MSCの原則１及び２で示された結果を達成するための短期及び長期目標が、審査対象漁業の管理システムの中に明確に打ち出されている。  | MSCの原則１及び２で示された結果を明らかに達成するために、十分に定義され、測定可能な短期及び長期目標が、審査対象漁業の管理システムの中に明確に打ち出されている。  |
| 適合 | **はい／いいえ／部分的** | **はい／いいえ／部分的** | **はい／いいえ／部分的** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 3.2.2 意思決定プロセス

| **PI 3.2.2** | 審査対象漁業の管理システムの中に、目標を達成するための措置や戦略に結び付く有効な意思決定プロセスがあり、漁業における実際の論争解決のための適切なアプローチが取られている。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 意思決定プロセス |
| 基準 | 審査対象漁業の管理システムの中に、目標を達成するための措置や戦略に結び付く意思決定プロセスがある程度ある。 | 審査対象漁業の管理システムの中に、目標を達成するための措置や戦略に結び付く確立された意思決定プロセスがある。 |  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |  |
| 根拠 |  |
| **b** | 意思決定プロセスの対応性 |
| 基準 | 意思決定プロセスは、関連する調査、モニタリング、評価、協議の中で特定された深刻な問題に対し、透明性のある、タイムリーで順応性のある方法で対応し、意思決定がもたらす広範な影響についてもある程度考慮されている。  | 意思決定プロセスは、関連する調査、モニタリング、評価、協議の中で特定された深刻および重要な問題に対し、透明性のある、タイムリーで順応性のある方法で対応し、意思決定がもたらす広範な影響についても考慮されている。  | 意思決定プロセスは、関連する調査、モニタリング、評価、協議の中で特定されたあらゆる問題に対し、透明性のある、タイムリーで順応性のある方法で対応し、意思決定がもたらす広範な影響についても考慮されている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 予防的アプローチの適用 |
| 基準 |  | 意思決定プロセスでは、最善の利用可能な情報に基づいた予防的アプローチがとられている。 |  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** |  |
| 根拠 |  |
| **d** | 管理システムおよび意思決定プロセスにおける責任と透明性 |
| 基準 | 業績及び管理活動に関するある程度の情報は、要請に応じてステークホルダーに提供される。  | 要請に応じて、業績及び管理活動に関する情報が提供され、調査、モニタリング、評価、レビューを通して得られた知見や関連する勧告に関し、どういうことが行われ、あるいは行われなかったかについての説明がなされている。  | 調査、モニタリング、評価やレビューを通して得られた知見や関連する勧告に関し、管理システムがどういう対応を取ったかについての、業績及び管理活動に関する包括的情報の公式な報告が、関心のあるすべてのステークホルダーに対して行われている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **e** | 論争に対するアプローチ |
| 基準 | 管理当局もしくは漁業は、継続的に提訴の対象になっていたとしても、漁業の持続可能性のために法律や規定に繰り返し背くといった法を軽視、あるいは無視する姿勢をとっていない。  | 管理当局もしくは漁業は、提訴に対する判決に対し、タイムリーに従う姿勢を示している。  | 管理当局もしくは漁業は、訴訟を避けるための行動を積極的にとっており、提訴に対する判決に迅速に対応している。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |  |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 3.2.3 遵守及び執行

| **PI 3.2.3** | 漁業の管理措置がきちんと施行され、遵守されることを確実にするための監視・管理・取り締まり（MCS）メカニズムがある。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | MCS（監視・管理・取り締まり）システム |
| 基準 | MCSのメカニズムが存在する。  | MCSシステムが存在する。  | 包括的なMCSシステムが確立されている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 制裁措置 |
| 基準 | 不適合に対する制裁措置が設けられている。  | 不適合に対する制裁措置が設けられており、それはUoAにふさわしく、適用されている。  | 不適合に対する制裁措置が設けられており、UoAにふさわしく、一貫して適用されている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 遵守（情報） |
| 基準 | UoAにおける遵守を大旨理解するのに十分な情報がある。  | UoAにおける遵守を高い正確さで推定するために十分な情報がある。  | UoAにおける遵守を非常に高い正確さで推定するために十分な情報がある。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **d** | 遵守（結果） |
| 基準 | 水上での持続可能な漁業の実行に特化した規則に対して、体系的違反が明白ではない。  | 水上での持続可能な漁業の実行に特化した全ての規則を含め、ほとんどの規則は遵守されている可能性が高い。  | 水上での持続可能な漁業の実行に特化した全ての規則を含め、ほとんどの規則は一貫して遵守されている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 3.2.4 モニタリングと管理業績評価

| **PI 3.2.4** | 審査対象漁業の管理システムの業績と目標とを照らし合わせてモニタリング、評価を行うシステムがある。審査対象漁業と関連増殖プログラムの管理システムが効果的かつタイムリーにレビューされている。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 評価の範囲 |
| 基準 | 管理システムの一部を評価するメカニズムが整っている。  | 管理システムの主要な部分を評価するメカニズムが整っている。  | 管理システムの全てを評価するメカニズムが整っている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 内部及び／または外部のレビュー |
| 基準 | 漁業の管理システムに対し、時折内部レビューが行われている。  | 漁業の管理システムに対し、定期的な内部レビューに加え、時折、外部のレビューが行われている。  | 漁業の管理システムに対し、定期的な内部及び外部のレビューが行われている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| Rationale根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

### 追加の得点表 - 該当しない場合は削除

*審査機関は、該当する場合、増殖二枚貝漁業またはサケ類漁業の得点表を報告書に含めなければならない。審査機関は、下の得点表をセクション7.4-7.5にコピーして標準の得点表と置き換え、セクション7.7を削除すること。*

*参照：FCP第3.0版7.8.3*

#### 増殖二枚貝漁業-該当しない場合は削除

###### PI 1.1.3 遺伝的結果

| **PI 1.1.3** | 資源の遺伝的構造に対して認識できるような漁業の影響は無いに等しい |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 増殖活動による遺伝的影響 |
| 基準 | 漁業が天然資源の遺伝構造に深刻、あるいは付加逆的な被害を与える可能性は低い。  | 漁業が天然資源の遺伝構造に深刻、あるいは付加逆的な被害を与える可能性は極めて低い。  | 増殖活動に付随する、天然資源の遺伝構造へのリスクがないことを、独立してピアレビューされた科学的評価によって、高い確実性をもって裏付けられている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 1.2.5 遺伝管理

| **PI 1.2.5** | 深刻な、あるいは不可逆的な被害を天然資源の遺伝子に与える危険性を引き起こさないための、孵化場における増殖活動を管理する戦略がある。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 遺伝管理戦略が講じられている |
| 基準 | 必要に応じて遺伝管理措置があり、遺伝結果(PI 1.1.3)のSG 80と矛盾しないレベルの資源の遺伝構造を保つことができると考えられる。  | 必要に応じて部分的な遺伝管理戦略があり、遺伝結果(PI 1.1.3)のSG 80と矛盾しないレベルの資源の遺伝構造を保つことができると考えられる。  | 遺伝管理戦略があり、遺伝結果(PI 1.1.3)のSG80と矛盾しないレベルの資源の遺伝子構造を保つことができると考えられる。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| Rationale根拠 |  |
| **b** | 遺伝管理戦略評価 |
| 基準 | 遺伝管理措置は、一般的な経験や理論または、他の類似の漁業/魚種との比較)といった妥当な論拠から判断して、効果を上げる可能性が高いと考えられる。  | 部分的な遺伝管理戦略が、当該資源において直接的に関係する情報に基づき、効果を上げるという客観的根拠がある程度ある。  | 遺伝管理戦略は、当該資源の遺伝子構造についての徹底的な知識に基づいており、この戦略が効果を上げる確実性が極めて高く、そのことが実験によって裏付けられている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 遺伝管理戦略の実施 |
| 基準 |  | 必要に応じて、部分的戦略が効果的に実施されていることを示す証拠がいくらかある。  | この戦略が効果的に実施されていることを示す明確な証拠がある。この戦略が全体的な目標を達成していることを示す証拠がいくらかある。 |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 1.2.6 遺伝的情報

| **PI 1.2.6** | 当該資源の遺伝的構造に関する情報は、増殖活動によってもたらされるリスクと遺伝的多様性の管理の有効性を測るのに十分である |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 情報の質 |
| 基準 | 当該資源の遺伝的構造に関する定性的、または推測情報があり、孵化場における増殖の影響を大まかに理解するのに妥当である。  | 当該資源の遺伝的構造に関する定性的、または推測情報といくらかの定量的情報があり、それらは孵化場における増殖の影響を推定するために十分である。  | 当該資源の遺伝的構造について詳細に理解されている。 孵化場における増殖の影響を高い信頼度をもって推定できる情報が十分にある。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 遺伝的管理戦略についての情報の妥当性 |
| 基準 | 必要に応じて、情報は、資源の増殖活動の主要な遺伝的な影響を管理するための措置を支持するのに妥当である。  | 必要に応じて、情報は、資源の増殖活動の主要な遺伝的な影響を管理するための部分的戦略を支持するのに妥当である。  | 資源の増殖活動の遺伝子的な影響を管理するための包括的な戦略を支持し、またその戦略が目的を達成しつつあるかを高い信頼度をもって評価することができる情報がある。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 2.5.1 移動に関する結果

| **PI 2.5.1** | 移動活動については、周囲の生態系に認識できるような影響は無いに等しい。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 移動活動による影響 |
| 基準 | 移動活動については、周囲の生態系に、病気、害虫、病原菌、非在来種を導入する可能性は低い。  | 移動活動については、周囲の生態系に、病気、害虫、病原菌、非在来種を導入する可能性は極めて低い。  | 移動活動が、周囲の生態系に、病気、害虫、病原菌、非在来種を導入する可能性が極めて低いことを裏付ける証拠がある。  |
| 適合 | **はい／いいえ／部分的** | **はい／いいえ／部分的** | **はい／いいえ／部分的** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 2.5.2 移動に関する管理

| **PI 2.5.2** | 深刻な、または、不可逆的な被害を周囲の生態系に与える危険を引き起こさないように、移動を管理する戦略がある。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 移動を管理する戦略がある |
| 基準 | 移動に関する結果についての業績評価指標(PI 2.5.1)のSG80レベルに準拠するレベルで、移動活動から周囲の生態系を保護すると期待される措置がある。  | 移動に関する結果についての業績評価指標(PI 2.5.1)のSG80レベルに準拠するレベルで、周囲の生態系を保護すると期待される部分的戦略が、必要に応じてある。  | 周囲の生態系に対する影響を管理するための戦略がある。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 移動を管理するための戦略の評価 |
| 基準 | 措置は、妥当な論拠に基づき、効果がある可能性が高いと思われる。  | 移動活動については、病気、害虫、病原体、非在来種を周囲の生態系に導入する可能性が極めて低いことが有効なリスク評価文書や同等の環境影響評価によって示されている。  | 移動活動に付随する周囲の生態系へのリスクがない確実性が高いことを、独立してピアレビューを受けた科学的評価によって裏付けられている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 移動による不測事態への対策 |
| 基準 |  | 移動により偶発的な病気、害虫、病原体、非在来種の導入が発生した際の、不測事態に対する合意された措置がある。  | 移動により偶発的な病気、害虫、病原体、非在来種の導入が発生した際の不測事態に対する正式な計画が文書化されており、利用できる。  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 2.5.3 移動に関する情報

| **PI 2.5.3** | 移動活動の影響に関する情報は、漁業により引き起こされるリスクを評価するために妥当である。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 情報の質 |
| 基準 | 移動に係る管理戦略とリスク低減のために、移動される資源の元の生息場所及び移動先における病気、害虫、病原菌、非在来種の有無に関する情報がある。  | 移動の管理に関する業績評価指標2.6.2のSG80レベルで要求されるリスクの適切な通達と影響を評価するための十分な情報がある。  | 頻繁に行われる包括的なモニタリングにより、病気、害虫、非在来種の導入の影響が無いことが、高い確実性で示されている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

#### サケ類漁業–該当しない場合は削除

###### PI 1.1.1資源状態

| **PI 1.1.1** | 資源管理単位(SMU)は高い生産性を維持し、限界管理基準値（LRP）以下になる可能性が低い。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 資源状態 |
| 基準 | SMUは、限界管理基準値（LRP）より上にある可能性が高い。  | SMUは、LRPより上にある可能性がかなり高い。  | SMUは、LRPより上にある確実性が高い。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 目標管理基準値(TRP)に対する資源状態 |
| 基準 |  | SMUはTRP、あるいはその付近で変動している。  | SMUはここ数年、TRPの付近で変動、あるいはそれを上回っている確実性が高い。  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 構成個体群の状態 |
| 基準 |  |  | SMUを構成する大半の個体群は予測された変動性の範囲内にある。 |
| 適合 |  |  | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |
| --- |
| 管理基準値に関連した資源状態 |
|  | 管理基準値のタイプ | 管理基準値 | 管理基準値に関連した現在の資源状態 |
| LRP（SI a）に関連した採点で使用する管理基準点 | *管理基準点のタイプを記入**例：Sgen* | *単位を明記した値を含める**例：産卵数5万。* | *管理基準点と同じ単位で現在の資源状況を記入**例：9万/目標取り残し量=1.8* |
| TRP（SI b）に関連した採点で使用する管理基準点 | *管理基準点のタイプを記入**例：目標取り残し量* | *単位を明記した値を含める**例：例：産卵数10万。* | *管理基準点と同じ単位で現在の資源状況を記入**例：9万/目標取り残し量=0.9* |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 1.1.2 資源の回復

| **PI 1.1.2** | SMUが悪化している場合、ある一定期間内に資源が回復している証拠がある。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 資源回復の時間枠 |
| 基準 | SMUの回復の時間枠は、20年以内、もしくは2世代分の期間内のいずれか短い方と定められている。 |  | SMUの１世代交代を超えない、最も期間が短い実現可能な回復策の時間枠が定められている。 |
| 適合 | **はい／いいえ** |  | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 回復の評価 |
| 基準 | 漁業の回復方策が、指定された期限内にSMUを回復させるのに有効かを判断するためのモニタリングが実施されている。 | 漁業の回復方策が効果的に実施されている証拠がある、もしくは、シミュレーション・モデリング、漁獲率もしくは過去の業績から考えて、指定された期限内にSMUを回復させられそうである。 | 漁業の回復方策が効果的に実施されている確固たる証拠がある、もしくは、シミュレーション・モデリングや漁獲率もしくは過去の業績から考えて、指定された期限内にSMUを回復させられる可能性がかなり高い。 |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 資源回復における増殖の利用 |
| 基準 | 資源回復方策としての増殖は、日常的に行われてはいないものの、人為的もしくは自然的影響によって脅かされた多様性を保全もしくは回復させるための措置として一時的に実施されることがある。  | 資源回復方策としての増殖は殆ど実施されない。  | 資源回復方策としての増殖は実施されない。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 1.2.1 漁獲戦略

| **PI 1.2.1** | 信頼性の高い、予防的な漁獲戦略が講じられている |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 漁獲戦略の立案 |
| 基準 | 漁獲戦略により、構成個体群の状態にかかわる問題への措置も含む、PI 1.1.1のSG80レベルのSMU管理目標を達成することが期待できる。  | 漁獲戦略は、SMUの状態に対応しており、漁獲戦略の各要素は、構成個体群の状態にかかわる問題への措置も含む、PI 1.1.1のSG80レベルの管理目標の達成に向け、相乗的に働く。  | 漁獲戦略は、SMUの状態に対応しており、構成個体群の状態に関する問題への措置も含む、PI 1.1.1のSG80レベルの管理目標が達成できるように立案されている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 漁獲戦略の評価 |
| 基準 | 実績や妥当な論拠に基づき、漁獲戦略が成功する可能性が高い。  | 漁獲戦略は検証され、PI 1.1.1 SG80に反映された目標を満たすことが予想される、もしくは漁獲戦略が PI 1.1.1 SG80に反映された目標を達成している証拠がある。  | 漁獲戦略の業績が評価され、SMUを目標レベルで維持できることが明らかであるなど、PI 1.1.1 SG80に反映された目標を達成していることを示す証拠がある。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 漁獲戦略のモニタリング  |
| 基準 | 漁獲戦略が効果的かどうかを判断するためのモニタリングが行われている。 |  |  |
| 適合 | **はい／いいえ** |  |  |
| 根拠 |  |
| **d** | 漁獲戦略の見直し |
| 基準 |  |  | 漁獲戦略は定期的に見直され、必要に応じて改善されている。 |
| 適合 |  |  | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **e** | 代替措置の検討 |
| 基準 | UoAによる、対象資源の不要漁獲による死亡を最小限に抑えるための代替措置の潜在的な有効性、および実用性の検討が行われている。  | UoAによる、対象資源の不要漁獲による死亡を最小限に抑えるための代替措置の潜在的な有効性、および実用性の検討が、５年毎に行われ、当該措置が適切に実施されている。  | UoAによる、対象種の不要漁獲による死亡を最小限に抑えるための代替措置の潜在的な有効性、および実用性の検討が、2年毎に行われ、当該措置が適切に実施されている。  |
| 適合 | **はい／いいえ／該当しない** | **はい／いいえ／該当しない** | **はい／いいえ／該当しない** |
| 根拠 | *サメが対象魚種ではない場合、評価項目を採点する必要はない。* |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 1.2.2 漁獲制御ルールと手段

| **PI 1.2.2** | 明確に定義された、効果的な漁獲制御ルール（HCR）が存在する。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 漁獲制御ルール（HCR）の立案及び適用 |
| 基準 | 一般的に理解されている 漁獲制御ルールが存在し、SMUの限界管理基準値に近づいたときに漁獲率を下げる機能があると期待される。  | 明確な漁獲制御ルールが存在し、限界管理基準値に近づいたときに漁獲率を確実に下げ、SMUをMSYに相当するレベルで変動させる働きがある。  | 漁獲制御ルールは、資源の生態学的役割を考慮にいれながら、SMUをMSYのレベル、あるいはより適切な他のレベルと一致する、目標レベルもしくはそれ以上で変動させる働きが殆どの場合において期待される。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 漁獲制御ルールの不確実性に対する頑健性 |
| 基準 |  | 漁獲制御ルールは、主な不確実要素にも対応できる可能性が高い。  | 漁獲制御ルールは、SMUの生態学的役割を含む、多様な不確実要素を考慮にいれており、主な不確実要素に充分対応できる証拠がある。  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 漁獲制御ルールの評価 |
| 基準 | 漁獲制御ルールの実施に使用、もしくは適用可能な手段が、漁獲を規制するのに適切で効果的であるという証拠がある程度ある。  | 漁獲制御ルールで求められている漁獲レベルを達成するため、適切で効果的な手段が実施されていることが、入手可能な証拠から示唆されている。  | 漁獲制御ルールで求められている漁獲レベルを達成するため、適切で効果的な手段が実施されているという明確な証拠がある。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **d** | 天然個体群の維持 |
| 基準 | 漁獲制御ルール及び手段は、天然個体群の多様性および生産性を維持させる可能性が高い。  | 漁獲制御ルール及び手段は、天然個体群の多様性および生産性を維持させる可能性がかなり高い。  | 漁獲制御ルール及び手段は、天然個体群の多様性および生産性を維持させる確実性が高い。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 1.2.3 情報とモニタリング

| **PI 1.2.3** | 漁獲戦略を裏付ける関連情報が収集されている。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 情報の範囲 |
| 基準 | 漁獲戦略を裏付けるための、間接的あるいは直接的情報を含め、SMUの構造や生産性、船団構成に関連する情報が、一部の個体群についていくらかは入手できる。  | 漁獲戦略を裏付けるための、代表的な天然個体群の漁獲率および産卵親魚の獲り残し量など、SMUの構成や生産性、船団構成の十分な関連情報が収集されている。  | 現行の漁獲戦略に直接関連のない情報も含む包括的な情報を入手することができる。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | モニタリング |
| 基準 | SMUの天然資源の豊かさや漁業による捕獲量がモニタリングされ、漁獲戦略を裏付けるために少なくとも一つの指標が利用可能で、十分なな頻度でモニタリングされている。  | 漁獲戦略で定められている精度及び範囲で、SMUの天然資源の豊かさや漁業による捕獲量が定期的にモニタリングされ、漁獲戦略を裏付けるために少なくとも一つ以上の指標が利用可能で、十分な頻度でモニタリングされている。  | 漁獲戦略に必要とされるすべての情報が高い頻度で、確実性が高い方法でモニタリングされ、情報の潜在的な不確実性と、この不確実性に対する評価と管理の頑健性を十分に理解している。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 情報の包括性 |
| 基準 |  | 対象漁業以外の捕獲量に関しても充実した情報がある。 |  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** |  |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 1.2.4 資源状態の評価

| **PI 1.2.4** | 資源状態について十分な評価が行われている |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 対象資源に対する資源評価の適切さ |
| 基準 |  | 資源評価は、SMU及び漁獲戦略に対して適切である。  | 資源評価は、魚種の生物学的特性やUoAの特徴に関連する主要な要素を考慮に入れている。  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 資源評価のアプローチ |
| 基準 | 資源評価は、サケ類に適した一般的な管理基準値と関連した資源状態を推定している。  | 資源評価は、SMUに適した、推定可能な管理基準値と関連した資源状態を推定している。  | 資源評価は、SMUおよびその天然個体群に適した資源状態および管理基準値について、高い信頼度の推定をしている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 資源評価の不確実性 |
| 基準 | 資源評価は、不確実性の主な原因を明らかにしている。  | 資源評価は、不確実性を考慮に入れている。  | 資源評価は、不確実性を考慮に入れ、確率的な方法で管理基準値と関連した資源状態を査定している。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **d** | 資源評価の査定 |
| 基準 |  |  | 資源評価は検証され、頑健であることが示されている。代替的な仮説や資源評価のアプローチの検討も徹底的に行われている。 |
| 適合 |  |  | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **e** | 資源評価のピアレビュー |
| 基準 |  | 指標個体群の選択、および増殖漁業における天然サケ類の評価方法を含むSMUの状態に関する資源評価はピアレビューを受けている。 | 指標個体群を使用するための設計や、増殖漁業における天然サケ類の評価方法を含む資源評価は、内外のピアレビューを受けている。 |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **f** | 指標資源の代表性 |
| 基準 | SMUの管理に関する決断をする上での主な情報源が指標資源である場合、その指標資源を選択した科学的根拠がある程度ある。  | SMUの管理に関する決断をする上での主な情報源が指標資源である場合、 SMUの生産性が低い場合にはそれと同等の指標資源が選択されるなど、 指標群の状態と管理単位において指標群が代表している他の個体群の状態との整合性が認められる証拠がある程度ある。  | SMUの管理に関する決断をする上での主な情報源が指標資源である場合、指標群の状態と、その指標群が代表している生産性が低い個体群を含め、管理単位の他の個体群の状態との間に高い整合性が認められる。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **g** | 資源管理単位（SMU）の定義 |
| 基準 | ほとんどのSMUは保護、漁業管理、及び資源評価に関する要求事項に対して明確な根拠をもって定義がされている。  | SMUははっきりと定義され、主な個体群の定義については、保護、漁業管理、資源評価に関する要求事項に対する明確な根拠がある。  | 各SMUには、構成個体群の地理的位置、遡上時期、回遊パターン及び／もしくは遺伝的特徴などを含む明確な記述があり、保護、漁業管理、資源評価に関する要求事項に対する明確な根拠がある。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 1.3.1 増殖の結果

| **PI 1.3.1** | 増殖活動は天然資源に悪影響を与えない。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 増殖の影響 |
| 基準 | 増殖活動は、天然資源の現地適応や繁殖行動、生産性および多様性に重大な悪影響を与えていない可能性が高い。  | I増殖活動は、天然資源の現地適応や繁殖行動、生産性および多様性に重大な悪影響を与えていない可能性がかなり高い。  | 増殖活動は、天然資源の現地適応や繁殖行動、生産性および多様性に重大な悪影響を与えていない確実性が高い。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 1.3.2 増殖の管理

| **PI 1.3.2** | 天然資源への増殖活動の影響に対応するための効果的な増殖管理および漁業戦略が講じられている。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 管理戦略が講じられている |
| 基準 | 増殖活動による重大な悪影響から天然資源を保護する方法およびプロトコルが存在する。  | 増殖活動による重大な悪影響から天然資源を保護する部分的戦略が講じられている。  | 増殖活動による重大な悪影響から天然資源を保護する包括的な戦略が講じられている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 管理戦略評価 |
| 基準 | 存在する方法およびプロトコルは、妥当な論拠から判断して、効果を上げる可能性が高いと考えられる。  | 最小限の悪影響を定義するのに使われている結果測定基準を、達成しているという証拠に基づき、戦略が有効であるという確信を得るための客観的根拠がある程度ある。  | 包括的な戦略によって、増殖活動による著しい有害な影響から天然資源を保護することに成功しているという明確な証拠がある。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 1.3.3 増殖情報

| **PI 1.3.3** | 関連情報が収集されており、増殖活動が天然資源に及ぼす影響を計るための評価が十分に行われている。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 情報の十分さ |
| 基準 | 漁獲量、総獲り残し量（天然魚と増殖魚の合計獲り残し量）、及びふ孵化場の親魚への増殖漁業の寄与度に関する情報がある程度ある。  | 漁獲量、総獲り残し量（天然魚と増殖魚の合計獲り残し量）、及びふ孵化場の親魚への増殖漁業の寄与度に関して、定性および定量的な情報が十分にある。  | 漁獲量、総獲り残し量（天然魚と増殖魚の合計獲り残し量）、及びふ孵化場の親魚への増殖漁業の寄与度に関して、包括的な範囲の定量的な情報がある。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 評価における情報の利用 |
| 基準 | 増殖活動による天然資源の状態、生産性および多様性への定性的な影響が考慮されている。  | 増殖活動による天然資源の状態、生産性および多様性への影響を定量的に推定するため、意思決定者により関連情報の中程度の分析が行われ、適用されている。  | 増殖活動による天然資源の状態、生産性および多様性への定量的影な影響を高い確実性で判断するために、意思決定者により関連情報の包括的な分析が行われ、日常的に適用されている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 2.2.1 ETP/OOS種の結果

| **PI 2.2.1** | ETP/OOSは、良好な保全状態にある。もしくは、UoAおよび関連の増殖活動はこのレベルへの回復を妨げていない。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 直接的な影響 |
| 基準 | 増殖活動を含むUoAによる直接的影響が、ETP/OOSの良好な保全状態までの回復を妨げる可能性が低い。  | 増殖活動を含むUoAによる直接的影響が、ETP/OOSの良好な保全状態までの回復を妨げる可能性がかなり低い。  | 増殖活動を含むUoAによる直接的影響が、ETP/OOSの良好な保全状態までの回復を妨げない確実性が高い。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 2.2.2 ETP／OOS種の管理戦略

| **PI 2.2.2** | UoAと、関連の増殖活動には以下のための予防的管理戦略がある：-ETP/OOSの偶発的な捕獲を最小限に抑えることを確実にし、可能であればゼロにする。 -ETP/OOSが良好な保護状態にある、もしくは UoA と関連する増殖活動がこのレベルまで の回復を妨げないことことが確実である。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 管理戦略が講じられている |
| 基準 | UoAおよび増殖に関連するETP/OOSの死亡数を最小限に抑え、ETP/OOS種の結果PIにおいてSG80レベルを達成することが期待される措置が、必要に応じて講じられている。  | UoAおよび増殖に関連するETP/OOSの死亡数を最小限に抑え、ETP/OOS種の結果PIにおいてSG80レベルを達成することが期待される戦略が、必要に応じて講じられている。  | UoAおよび増殖に関連するETP/OOSの死亡数を最小限に抑え、ETP/OOS種の結果PIにおいてSG80レベルを達成することが期待される包括的戦略が、必要に応じて講じられている。  |
| 適合 | **Yes / No****はい／いいえ** | **Yes / No****はい／いいえ** | **Yes / No****はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 管理戦略の効果 |
| 基準 |  | 措置、戦略、または包括的戦略により、ETP/OOSの死亡数を削減または最小限に抑えられたことを示す証拠がある。 |  |
| 適合 |  | **Yes / No** **はい／いいえ** |  |
| 根拠 |  |
| **c** | ETP/OOS種の死亡数を最小限に抑えるための代替措置の検討 |
| 基準 |  | UoAおよび増殖活動起因のETP/OOSの死亡を最小限に抑えるための代替措置の検討が、5年毎に行われ、ETP/OOSに対して適切に実施されている。  | UoAおよび増殖活動起因のETP/OOSの死亡を最小限に抑えるための代替措置の検討が、2年毎に行われ、ETP/OOSに対して適切に実施されている。  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **d** | サメのヒレ切り |
| 基準 | サメのヒレ切りが行われていないという確実性が高い。 |  |  |
| 適合 | **はい／いいえ** |  |  |
| 根拠 |  |
| **e** | 漁具流出の管理戦略 |
| 基準 | UoA と関連する増殖活動には、必要に応じて、漁具流出及び流出漁具による ETP/OOSへの影響を最小限におさえることが期待される措置が講じられている。  | UoA と関連する増殖活動には、必要に応じて、漁具流出及び流出漁具による ETP/OOSへの影響を最小限におさえることが期待される部分的戦略が講じられている。  | UoA と関連する増殖活動には、必要に応じて、漁具流出及び流出漁具による ETP/OOSへの影響を最小限におさえることが期待される戦略が講じられている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 2.2.3 ETP/OOS種の情報

| **PI 2.2.3** | UoA及び増殖活動がETP/OOS種に与える影響と、講じられている管理措置や戦略の効果を判断するための情報は十分である。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 影響の評価に必要な情報の充分さ |
| 基準 | UoAと関連する増殖活動がETP/OOS種に与える影響をおおむね理解するのに十分な情報がある。  | UoAと関連する増殖活動がETP/OO種に与える影響を推定し、UoAと関連する増殖活動がその回復を脅かす可能性があるかどうかを高い精度で推定するための情報は十分である。  | UoAと関連する増殖活動がETP/OO種に与える影響を推定し、UoAと関連する増殖活動がその回復を脅かす可能性があるかどうかを非常に高い精度で推定するための情報は十分である。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 管理戦略に必要な情報の充分さ |
| 基準 | ETP/OOS種への影響を管理する措置を支持するのに必要な充分な情報がある。  | ETP／OOS種への影響を管理するための戦略を支持し、死亡数を最小限に抑えるための措置の効果を評価するのに必要な動向を測るための情報は十分である。  | ETP／OOS種への影響を管理するための包括的戦略を支持し、死亡数を最小限に抑えるための措置の効果を高い確実で評価するための情報は十分である。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 2.3.1 生息域の結果

| **PI 2.3.1** | 漁業管理機関の管轄内における生息域において、UoAおよび関連する増殖活動は生息域の構造および機能に深刻、あるいは不可逆的な被害を及ぼしていない。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 感受性のより低い生息域 |
| 基準 | UoA及び関連の増殖活動が感受性のより低い生息域の構造や機能を深刻、あるいは、不可逆的な被害を及ぼすレベルにまで低下させる可能性は低い。  | UoA及び関連の増殖活動が感受性のより低い生息域の 構造や機能を深刻、あるいは、不可逆的な被害を及ぼすレベルにまで低下させる可能性は極めて低い。  | UoA及び関連の増殖活動が感受性のより低い生息域の 構造や機能を深刻、あるいは、不可逆的な被害を及ぼすレベルにまで低下させる可能性は極めて低いという証拠がある。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 感受性のより高い生息域 |
| 基準 | UoA及び関連の増殖活動が感受性のより高い生息域の構造や機能を深刻、あるいは、不可逆的な被害を及ぼすレベルにまで低下させる可能性は低い。  | TUoA及び関連の増殖活動が感受性のより高い生息域の構造や機能を深刻、あるいは、不可逆的な被害を及ぼすレベルにまで低下させる可能性は極めて低い。  | UoA及び関連の増殖活動が感受性のより高い生息域の構造や機能を深刻、あるいは、不可逆的な被害を及ぼすレベルにまで低下させる可能性が極めて低いという証拠がある。  |
| 適合 | **はい／いいえ／該当しない** | **はい／いいえ／該当しない** | **はい／いいえ／該当しない** |
| 根拠 | *「感受性がより高い生息域」がない場合、評価項目は採点しなくてよい。* |
| **c** | UoA内の増殖活動による影響 |
| 基準 | 増殖活動が、生息域に悪影響を与える可能性は低い。  | 増殖活動が、生息域に悪影響を与える可能性は極めて低い。  | 増殖活動が、生息域に悪影響を与えない確実性が高い。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 2.3.2 生息域の管理戦略

| **PI 2.3.2** | UoAおよび関連の増殖活動が、生息域に深刻、あるいは不可逆的な被害を与えるリスクがないことを確実にするための戦略が講じられている。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 講じられている管理戦略 |
| 基準 | 必要に応じて、生息域結果のSG80レベルを達成することが期待される措置が講じられている。 | 必要に応じて、生息域結果の SG80レベル以上を達成することが期待される部分的戦略が講じられている。 | すべてのMSC UoA／非MSC漁業UoAと関連する増殖活動が生息域に与える影響を管理するための戦略が講じられている。 |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 管理戦略の効果 |
| 基準 | 措置は、妥当な論拠に基づき、効果がある可能性が高いと判断される。  | UoAとその増殖活動、および/または関与する生息域に関する直接的な情報に基づき、措置／部分的戦略がSI（a）で定められた目的を達成していることを示す何らかの証拠がある。  | UoAとその増殖活動、および/または関与する生息域に関する直接的な情報に基づき、部分的戦略／戦略がSI（a）で定められた目的を達成していることを示す証拠がある。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 管理に関する要求事項およびその他のMSC UoA/非MSC漁業が感受性のより高い生息域を保護するために講じている措置の遵守 |
| 基準 | 感受性がより高い生息域を保護するための管理要求事項に対するUoAの遵守状況をおおむね理解する情報は十分である。  | UoA の管理要求事項の遵守と、他の MSC UoA/非 MSC 漁業が感受性のより高い生息域の保護措置を講じている場合には、それをも遵守していることを、高い精度で推定するのに十分な情報がある。  | UoA の管理要求事項の遵守と、他の MSC UoA/非 MSC 漁業が感受性のより高い生息域の保護措置を講じている場合には、それをも遵守していることを、非常に高い精度で推定するのに十分な情報がある。  |
| 適合 | **はい／いいえ／該当しない** | **はい／いいえ／該当しない** | **はい／いいえ／該当しない** |
| 根拠 | *「感受性がより高い生息域」がない場合、評価項目は採点しなくてよい。* |
| **d** | 流出漁具の管理戦略 |
| 基準 | UoAおよび関連する増殖活動には、漁具流出とすべての生息域に対する流出漁具による影響を最小限に抑えることが期待される措置が、必要に応じて、講じられている。  | UoAおよび関連する増殖活動には、漁具流出とすべての生息域に対する流出漁具による影響を最小限に抑えることが期待される部分的戦略が、必要に応じて、講じられている。  | UoAと関連する増殖活動には、漁具流出とすべての生息域に対する流出漁具による影響を最小限に抑えることが期待される戦略が、必要に応じて、講じられている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 2.3.3 生息域情報

| **PI 2.3.3** | UoAおよび関連の増殖活動が生息域に及ぼしているリスク、生息域への影響に対する管理戦略の効果を確認するための情報が充分にある。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 情報の質 |
| 基準 | 生息域の形態と分布に関して、広義の理解がある。  | UoA操業域内の生息域の特徴、分布および脆弱性が、UoAの規模と複雑さに見合う詳しさで把握されている。  | 操業域内の生息域分布について知られており、特に脆弱な生息域がどこにあるかが把握されている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 影響を評価する為に必要な情報の充分さ |
| 基準 | 漁具の使用および増殖活動による生息域への影響について広義の理解に必要な情報が充分にある。  | 生息域に対する増殖活動を含むUoAの影響を高い精度で推定するのに必要な情報が充分にある。  | 生息域に対する増殖活動を含むUoAの影響を非常に高い精度で推定するのに必要な情報が充分にある。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | モニタリング |
| 基準 |  | 生息域へのリスクの上昇を検知するために必要な情報が継続的に収集されている。  | 時間の経過によるすべての生息域の分布変化が、観測されている。  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 2.4.1 生態系の結果

| **PI 2.4.1** | UoAおよび関連の増殖活動は、生態系構造と機能の主要な要素に深刻、あるいは不可逆的な被害を及ぼさない。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 生態系の状態 |
| 基準 | UoAが、生態系の構造や機能の基盤となる主要な要素に、深刻な、あるいは不可逆的な被害を及ぼすほどまでの影響を与える可能性は低い。  | UoAが、生態系の構造や機能の基盤となる主要な要素に、深刻な、あるいは不可逆的な被害を及ぼすほどまでの影響を与える可能性は極めて低い。  | UoAが、生態系の構造や機能の基盤となる主要な要素に、深刻な、あるいは不可逆的な被害を及ぼすほどまでの影響を与える可能性は極めて低い、という証拠がある。  |
| 適合 | **はい／いいえ／部分的** | **はい／いいえ／部分的** | **はい／いいえ／部分的** |
| 根拠 |  |
| **b** | 増殖による影響 |
| 基準 | 増殖活動が、生態系の構造や機能の基盤となる主要な要素に、深刻、あるいは不可逆的な被害を及ぼすほどまでの影響を与える可能性は低い。  | 増殖活動が、生態系の構造や機能の基盤となる主要な要素に、深刻な、あるいは不可逆的な被害を及ぼすほどまでの影響を与える可能性は極めて低い。  | 増殖活動が、生態系の構造や機能の基盤となる主要な要素に、深刻な、あるいは不可逆的な被害を及ぼすほどまでの影響を与える可能性は極めて低い、という証拠がある。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 2.4.2 生態系の管理

| **PI 2.4.2** | UoAおよび増殖活動が、生態系の構造や機能に深刻、あるいは不可逆的な被害を与るリスクが確実にないようにするための措置が講じられている。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 講じられている管理戦略 |
| 基準 | 生態系の構造及び機能の基盤となっている主要な要素に対するUoAの潜在的な影響を考慮した措置が、必要に応じて講じられている。  | 入手可能な情報を考慮した部分的戦略が、必要に応じて講じられており、生態系の結果PIがSG80レベルを満たすまでにUoAの生態系への影響を軽減する効果が期待できる。  | UoAによる生態系への主な影響全てに対する措置を含む計画に基づいた戦略あり、措置の少なくとも一部は講じられている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 管理戦略評価 |
| 基準 | 措置は、妥当な論拠から判断して、効果を上げる可能性が高いと考えられる。  | UoA及び／もしくは対象となる生態系に関するいくつかの直接的な情報から判断して、措置／部分的戦略が評価項目（a）の目標を達成している、という証拠がある程度ある。  | UoAおよび／もしくは対象の生態系に関する直接的な情報から判断して、部分的戦略／戦略が評価項目（a）の目標を達成している、という証拠がある。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 管理戦略の実施 |
| 基準 |   | 措置／部分的戦略が効果的に実施されている証拠がいくつかある。  | 戦略／包括的戦略が効果的に実施されており、 評価項目(a)の目標を達成しているという明確な証拠がある。  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **d** | 増殖活動の管理 |
| 基準 | 生態系の結果PIがSG60レベルを満たす効果が期待される確立された人工ふ化魚生産戦略が講じられている。  | 試験評価済みの人工ふ化魚生産戦略が講じられ、モニタリングも充分に行われており、また証拠から判断して、その戦略は、生態系の結果PIがSG80レベルを満たす効果をあげている確実性が高い。  | 充分に評価された包括的な人工ふ化魚生産戦略があり、生態系の結果PIがSG100レベルを確実に達成していることが検証できる。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 2.4.3 生態系情報

| **PI 2.4.3** | UoAおよび増殖活動が、生態系に及ぼす影響についての知見が充分である。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 情報の質 |
| 基準 | 生態系の主要な要素を識別するのに充分な情報がある。 | 生態系の主要な要素を広く理解するのに充分な情報がある。 |  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |  |
| 根拠 |  |
| **b** | UoAの影響調査 |
| 基準 | 生態系の主要な要素に対するUoAおよび関連の増殖活動の主な影響については、既存の情報から推測することができる。  | 生態系の主要な要素に対するUoAおよび関連の増殖活動の主な影響については、詳細な調査が行われている。  | UoAおよび関連の増殖活動と主要な生態系の要素との相互作用については、詳細な調査が行われている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 構成要（すなわち、P1対象種、適用範囲内の混獲種及びETP/OOS種、生息域）の機能理解 |
| 基準 |   | 生態系のそれらの構成要素の主な機能は知られている。  | それらの構成要素に対するUoAおよび関連の増殖活動の影響は確認され、生態系におけるこれらの構成要素の主な機能が理解されている。  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **d** | 情報の関連性 |
| 基準 |  | これらの構成要素へのUoAおよび関連の増殖活動の影響に関する十分な情報が入手可能で、生態系への主な影響のいくつかについては推測することができる。  | これらの構成要素および個別要素へのUoAおよび関連の増殖活動の影響に関する十分な情報が入手可能で、生態系への主な影響について推測することができる。  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **e** | モニタリング |
| 基準 |  | リスクの上昇を検知するため、十分なデータが継続的に収集されている。  | 生態系への影響の管理戦略開発を支えるだけの十分な情報がある。  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 3.1.3 長期目標

| **PI 3.1.3** | SMUと関連の増殖活動の管理戦略は予防的アプローチを取り入れており、MSC漁業認証規格に合致した意思決定の指針となる明確な長期目標が打ち出されている。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 目標 |
| 基準 | MSCの漁業認証規格及び予防的アプローチに合致した長期目標が管理方針の中に潜在的に存在し、意志決定の際の指針となっている。  | MSCの漁業認証規格 及び予防的アプローチに合致した明確な長期目標が、管理方針の中にはっきりと打ち出されており、意志決定の際の指針となっている。  | MSCの漁業認証規格及び予防的アプローチに合致した明確な長期目標の設定と実行が、管理方針の中にはっきりと打ち出されており、意志決定の際の指針となっている。  |
| 適合 | **はい／いいえ／部分的** | **はい／いいえ／部分的** | **はい／いいえ／部分的** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 3.2.1 審査対象漁業の目標

| **PI 3.2.1** | 審査対象漁業および関連の増殖活動の管理システムは、MSCの原則１及び２で示された結果を達成するために明確で具体的な目標を掲げている。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 目標 |
| 基準 | MSCの原則1及び2で示された結果を達成することとほぼ一致する目標が、審査対象漁業および関連する増殖活動の管理システムの中に潜在的に存在している。  | MSCの原則１及び２で示された結果を達成するための短期及び長期目標が、審査対象漁業および関連する増殖活動の管理システムの中に明確に打ち出されている。  | MSCの原則１及び２で示された結果を明らかに達成するための明瞭で測定可能な短期及び長期目標が、審査対象漁業および関連の増殖活動の管理システムの中に明確に打ち出されている。  |
| 適合 | **はい／いいえ／部分的** | **はい／いいえ／部分的** | **はい／いいえ／部分的** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 3.2.2 意思決定プロセス

| **PI 3.2.2** | 審査対象漁業および関連の増殖活動の管理システムの中に、目標を達成するための措置や方策に結び付く有効な意思決定プロセスがあり、漁業における実際の論争解決のための適切なアプローチが取られている。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 意思決定プロセス |
| 基準 | 審査対象漁業および関連の増殖活動の目標を達成するための措置や方策に結び付く部分的な意思決定プロセスがある。  | 審査対象漁業および関連の増殖活動の目標を達成するための措置や方策に結び付く確立された意思決定プロセスがある。  |  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |  |
| 根拠 |  |
| **b** | 意思決定プロセスの対応性 |
| 基準 | 関連する調査、モニタリング、評価や協議の中で特定された深刻な問題に対し、透明性のある、タイムリーで順応できる意思決定プロセスがあり、決定がもたらす広義の影響についてもある程度考慮されている。 | 関連する調査、モニタリング、評価や協議の中で特定された深刻および重要な問題に対し、透明性のある、タイムリーで順応できる意思決定プロセスがあり、決定がもたらす広義の影響についても考慮されている。 | 関連する調査、モニタリング、評価や協議の中で特定されたあらゆる問題に対し、透明性のある、タイムリーで順応できる意思決定プロセスがあり、決定がもたらす広義の影響についても考慮されている。 |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 予防的アプローチの適用 |
| 基準 |  | 意思決定プロセスでは、最善の利用可能な情報に基づいた予防的アプローチがとられている。 |  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** |  |
| 根拠 |  |
| **d** | 管理システム及び意思決定プロセスにおける責任と透明性 |
| 基準 | 審査対象漁業および関連の増殖活動の目標を達成するための措置や方策に結び付く部分的な意思決定プロセスがある。  | 審査対象漁業および関連の増殖活動の目標を達成するための措置や方策に結び付く確立された意思決定プロセスがある。  | 審査対象漁業および関連の増殖活動の目標を達成するための措置や方策に結び付く部分的な意思決定プロセスがある。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **e** | 論争に対するアプローチ |
| 基準 | 管理当局もしくは漁業は、再度、提訴の対象になっていたとしても、持続可能な漁業のための法律や規定に繰り返し背くといった法を軽視あるいは無視する姿勢をとっていない。 | 管理当局もしくは漁業は、提訴に対する判決に対し、タイムリーに従う姿勢を示している。  | 管理当局もしくは漁業は、訴訟を避けるための行動を積極的にとっており、提訴に対する判決に迅速に対応している |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 3.2.3 遵守及び執行

| **PI 3.2.3** | UoAおよび関連の増殖活動の管理措置がきちんと施行され、遵守されることを確実にするための監視・管理・取り締まり（MCS）メカニズムがある。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | MCSシステム |
| 基準 | UoA及び関連する増殖活動に対するMCSメカニズムが存在する。  | UoA及び関連する増殖活動に対するMCSシステムが存在する。  | UoA 及び関連する増殖活動に対する包括的なMCSが存在する。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 制裁措置 |
| 基準 | UoA及び関連する増殖活動は、不履行に対処するための制裁措置を設けている。  | 不履行に対処するため、UoAと関連する増殖活動に適した制裁措置が設けられており、適用されている。  | 不履行に対処するため、UoAと関連する増殖活動に適した包括的な制裁措置が設けられており、一貫して適用されている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | 遵守（情報） |
| 基準 | UoAにおける遵守を大旨理解するのに十分な情報がある。  | UoAにおける遵守を高い精度で推定するために十分な情報がある。  | UoAにおける遵守を非常に高い精度で推定するために十分な情報がある。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **d** | 遵守（結果） |
| 基準 | 水上での持続可能な漁業慣行に特化した規則に対する組織的な不履行は、UoAと関連する増殖活動において明らかではない。  | 水上での持続可能な漁業慣行に特化した規則を含む大部分の規則は遵守されている可能性が高い。  | 水上での持続可能な漁業慣行に特化した規則を含む大部分の規則は一貫して遵守されている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

###### PI 3.2.4 モニタリングと管理業績評価

| **PI 3.2.4** | 審査対象漁業と増殖プログラムの管理システムの業績と目標とを照らし合わせてモニタリング、評価を行うシステムがある。審査対象漁業と関連増殖プログラムの管理システムが効果的且つタイムリーにレビューされている。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | 評価の範囲 |
| 基準 | 漁業及び関連する増殖プログラムの管理システムの一部を評価するメカニズムが講じられている。  | 漁業と及び関連する増殖プログラムの管理システムの主要な部分を評価するメカニズムが講じられている。  | 漁業及び関連する増殖プログラムの管理システムの全てを評価するメカニズムが講じられている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | 内部および／また外部のレビュー |
| 基準 | 漁業と関連増殖プログラムの管理システムに対し、時折内部レビューが行われている。  | 漁業と関連増殖プログラムの管理システムに対し、定期的な内部レビューに加え、時折、外部のレビューが行われている。  | 漁業と関連増殖プログラムの管理システムに対し、定期的な内部及び外部のレビューが行われている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

### 原則1 地域漁業管理機関（RFMO）が管理する資源

###### PI 1.2.2 漁獲制御ルールと手段

| **PI 1.2.2** | 明確に定義された、効果的HCRsが講じられている。 |
| --- | --- |
| 評価項目 | **SG 60** | **SG 80** | **SG 100** |
| **a** | HCRの立案及び適用 |
| 基準 | 加入が損なわれる基準（PRI）に近づいたときに漁獲率を下げることが期待されていると一般的に理解されているHCRが講じられている、もしくは利用できる。  | 明確なHCRが講じられ、PRIに近づいたときに漁獲率を確実に下げ、資源をMSYに相当するレベル（もしくはそれ以上のレベル）あたりで変動させるか、もしくは主要LTL種の場合、生態系のニーズに相当するレベルで変動させることが期待される。  | HCRは、大抵の場合、資源のレベルをMSY、あるいは資源の生態的役割を考慮にいれた、より適切なレベルと同じか、もしくそれ以上のレベルで変動させることが期待されている。  |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **b** | HCRの不確実要素への頑健性  |
| 基準 |  | HCRは、主な不確実要素に対して頑健な可能性が高い。  | HCRは、資源の生態学的役割を含む多様な不確実要素を考慮に入れており、HCRが主な不確実要素に対して頑健であることを示す証拠がある。  |
| 適合 |  | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |
| **c** | HCRの評価 |
| 基準 | HCRで使用され、もしくは利用可能な手段は漁獲制御に適切で効果的であるという証拠がいくつかある。  | HCRで求められている漁獲レベルを達成するため、適切で効果的な手段が実施されていることが入手可能な証拠によって示されている。  | HCRで求められている漁獲レベルを達成するため、適切で効果的な手段が実施されているという明確な証拠がある。 |
| 適合 | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** | **はい／いいえ** |
| 根拠 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 仮の得点範囲 | **<60 / 60-79 / ≥80** |
| 不足情報指標 | **さらなる情報が求められる／PIの採点のための情報は十分である***さらなる情報が求められる場合、不足情報についての説明とどのような情報が求められるかを記述* |

## 付属文書

### 評価プロセス及び手法

#### 現地視察

*審査機関は報告書に以下を含めることができる：*

* *予備審査中に実施された現地での活動についての説明。*
* *実施された会議の一覧。*
* *ステークホルダーとのその他の関わりについての詳細。*

*参照：FCP第3.0版 セクション7.14*

#### 本審査へのステークホルダー参加についての提言

*審査機関は報告書に以下を含めることができる：*

* *インタビュー対象者または本審査に含まれる関係者についての詳細：地域のMSC代表者との連絡係を含めた、地域住民、ステークホルダー団体の代表者。*
* *ステークホルダー参加についての戦略と利用できる機会についての説明。*

### リスクに基づいた審査枠組みの結果 – 該当しない場合は削除

#### Consequence Analysis (CA)

*審査機関は、PI1.1.1 のデータ不足の種について、Consequence Analysis (CA)の各属性の得点の根拠を含め、以下の表を完成させなければならない。*

*参照：MSC漁業認証規格ツールボックスセクションA3*

表11：CA採点テンプレート

| **原則１**資源状態 | **採点要素** | **結果の下位項目** | **結果得点** |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 個体群の大きさ |  |
| 再生産能力 |  |
| 年齢／体サイズ／性別構造 |  |
| 地理的範囲 |  |
| 最も影響を受けやすい下位項目の根拠 |  |  |  |
| 結果得点の根拠 |  |  |  |

#### Productivity Susceptibility Analysis (PSA)

*審査機関は、FCP第3.0版、MSC漁業認証規格、ツールボックスのセクションA4に従い、Productivity Susceptibility Analysis (PSA)が使用される各業績評価指標のMSC PSAワークシート、及びデータ不足が確認された魚種のPSA根拠の表を報告書に含めることができる。種がグループ毎に分類されている場合、審査機関はすべての種をリストに挙げ、どの種が最も高いリスクにあるかを示して分類すべきである。*

*参照：漁業認証規格ツールボックスセクションA4*

表12：魚類と無脊椎動物のPSAと得点

|  |  |
| --- | --- |
| 業績評価指標 |  |
| **生産性** |
| 採点要素（種） |  |
| **属性** | **根拠** | **得点** |
| 成熟平均年齢 |  | **1 / 2 / 3** |
| 平均最高年齢 |  | **1 / 2 / 3** |
| 繁殖力 |  | **1 / 2 / 3** |
| 平均最大体長（無脊椎動物は採点しない） |  | **1 / 2 / 3** |
| 成熟時の平均体長（無脊椎動物は採点しない） |  | **1 / 2 / 3** |
| 繁殖戦略 |  | **1 / 2 / 3** |
| 栄養段階 |  | **1 / 2 / 3** |
| 密度依存性（無脊椎動物にのみ使用） |  | **1 / 2 / 3** |
| **感受性** |
| 漁業採点要素が累積的に採点される場合のみ | *当該採点要素に影響を与える漁業のリストを記入（MSC漁業認証規格ツールボックスA4.4.3a）* |
| **属性** | **根拠** | **得点** |
| 地域的な重複 | *属性の根拠を記入。MSC漁業認証規格ツールボックスA4.4.6.bのUoA以外の漁業の影響も考慮に入れる場合の要求事項に注意する。* | **1 / 2 / 3** |
| 漁具と遭遇する可能性 | *属性の根拠を記入。MSC漁業認証規格ツールボックスA 4.4.7.bのUoA以外の漁業の影響も考慮に入れる場合の要求事項に注意する。* | **1 / 2 / 3** |
| 漁具の選択性 |  | **1 / 2 / 3** |
| 捕獲後の死亡率 |  | **1 / 2 / 3** |
| 漁獲量（重量）採点要素を累積的に採点する場合のみ | *採点要素に影響を及ぼしている漁業の漁獲量または割合を記入（MSC漁業認証規格ツールボックスA4.4.4）。* | **1 / 2 / 3** |

表13：鳥類のPSAと得点

|  |  |
| --- | --- |
| 業績評価指標 |  |
| **生産性** |
| 得点要素（種） |  |
| **属性** | **根拠** | **得点** |
| 最初の繁殖の平均年齢 |  | **1 / 2 / 3** |
| 平均的な「最適」成体生存確率 |  | **1 / 2 / 3** |
| 繁殖力 |  | **1 / 2 / 3** |
| **感受性** |
| **属性** | **根拠** | **得点** |
| 地域的な重複 | *属性の根拠を記入* | **1 / 2 / 3** |
| 漁具と遭遇する可能性 | *属性の根拠を記入* | **1 / 2 / 3** |
| 漁具の選択性 |  | **1 / 2 / 3** |
| 捕獲後の死亡率 |  | **1 / 2 / 3** |

表14：海洋哺乳類：ヒゲクジラ類と海牛類；ハクジラ類；鰭脚類及びラッコのPSAと得点

|  |  |
| --- | --- |
| 業績評価指標 |  |
| **生産性** |
| 採点要素（種） |  |
| **属性** | **根拠** | **得点** |
| 成熟平均年齢 |  | **1 / 2 / 3** |
| 繁殖力 |  | **1 / 2 / 3** |
| 平均「最適」生存確率（鰭脚類及びラッコのみ採点） |  | **1 / 2 / 3** |
| **感受性** |
| **属性** | **根拠** | **得点** |
| 地域的な重複 | 地域的な重複 | **1 / 2 / 3** |
| 漁具と遭遇する可能性 | 漁具と遭遇する可能性 | **1 / 2 / 3** |
| 漁具の選択性 |  | **1 / 2 / 3** |
| 捕獲後の死亡率 |  | **1 / 2 / 3** |

表15：ウミガメのPSAと得点

|  |  |
| --- | --- |
| 業績評価指標 |  |
| **生産性** |
| 得点要素（種） |  |
| **属性** | **根拠** | **得点** |
| 成熟平均年齢 |  | **1 / 2 / 3** |
| 繁殖力：産卵シーズンあたり、産卵回帰年数あたりの卵の数 |  | **1 / 2 / 3** |
| **感受性** |
| **属性** | **根拠** | **得点** |
| 地域的な重複 | *属性の根拠を記入* | **1 / 2 / 3** |
| 漁具と遭遇する可能性 | *属性の根拠を記入* | **1 / 2 / 3** |
| 漁具の選択性 |  | **1 / 2 / 3** |
| 捕獲後の死亡率 |  | **1 / 2 / 3** |

表16：ウミヘビのPSAと得点

|  |  |
| --- | --- |
| 業績評価指標 |  |
| **生産性** |
| 採点要素（種） |  |
| **属性** | **根拠** | **得点** |
| 成熟時の平均体長（cm） |  | **1 / 2 / 3** |
| 平均最大体長（cm） |  | **1 / 2 / 3** |
| 繁殖力 |  | **1 / 2 / 3** |
| **感受性** |
| **属性** | **根拠** | **得点** |
| 地域的な重複 | *属性の根拠を記入。* | **1 / 2 / 3** |
| 漁具と遭遇する可能性 | *属性の根拠を記入。* | **1 / 2 / 3** |
| 漁具の選択性 |  | **1 / 2 / 3** |
| 捕獲後の死亡率 |  | **1 / 2 / 3** |

表17：両生類のPSAと得点

|  |  |
| --- | --- |
| 業績評価指標 |  |
| **生産性** |
| 採点要素（種） |  |
| **属性** | **根拠** | **得点** |
| 成熟平均年齢 |  | **1 / 2 / 3** |
| 平均最高年齢 |  | **1 / 2 / 3** |
| 繁殖力 |  | **1 / 2 / 3** |
| 平均最大体長（無脊椎動物は採点しない） |  | **1 / 2 / 3** |
| 成熟時の平均体長（無脊椎動物は採点しない） |  | **1 / 2 / 3** |
| 繁殖戦略 |  | **1 / 2 / 3** |
| 栄養段階 |  | **1 / 2 / 3** |
| 密度依存性（無脊椎動物にのみ使用） |  | **1 / 2 / 3** |
| **感受性** |
| **属性** | **根拠** | **得点** |
| 地域的な重複 | *属性の根拠を記入* | **1 / 2 / 3** |
| 漁具と遭遇する可能性 | *属性の根拠を記入* | **1 / 2 / 3** |
| 漁具の選択性 |  | **1 / 2 / 3** |
| 捕獲後の死亡率 |  | **1 / 2 / 3** |

表18：類似の分類に従ってグループ化した種（MSC漁業認証規格ツールボックスA4.1.6を使用した場合）

| **学名** | **一般名（既知の場合）** | **分類群** | **グループ内で最も高いリスクか？** |
| --- | --- | --- | --- |
| *例：属、種、亜種* |  | *この種が属するグループを記入する。**例：サバ科、ササウシノシタ科、ハタ科、メルルーサ種* | *はい／いいえ* |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

#### Consequence Spatial Analysis (CSA)

*審査機関は、PI2.3.1でConsequence Spatial Analysis (CSA)を使用する場合、CSAの各属性の得点の根拠を含め、下の表に記入しなければならない。*

*参照：漁業認証規格ツールボックスセクションA7*

表19：PI 2.3.1生息地のCSAの根拠の表

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **結果** | **根拠** | **得点** |
| 生物相の再生 |  | **1 / 2 / 3** |
| 自然攪乱 |  | **1 / 2 / 3** |
| 生物相が死滅する可能性 |  | **1 / 2 / 3** |
| 基盤が除去される可能性 |  | **1 / 2 / 3** |
| 基盤の硬さ |  | **1 / 2 / 3** |
| 基盤の起伏 |  | **1 / 2 / 3** |
| 海底の傾斜 |  | **1 / 2 / 3** |
| **空間** | **根拠** | **得点** |
| 漁具のフットプリント |  | **1 / 2 / 3** |
| 空間的な重複 |  | **1 / 2 / 3** |
| 遭遇する可能性 |  | **1 / 2 / 3** |

#### Scale Intensity Consequence Analysis (SICA)

*審査機関は、PI2.4.1でScale Intensity Consequence Analysis (SICA)を使用する場合、SICAの各属性の採点の根拠を含め、下のSICAの表に記入しなければならない。*

*参照：MSC漁業認証規格ツールボックスセクションA8*

表20：PI 2.4.1生態系のSICA採点テンプレート

| **業績評価指標****PI 2.4.1　生態系の結果** | **漁業活動の空間的範囲** | **漁業活動の時間的範囲** | **漁業活動の強度** | **関連する生態系の下位項目** | **結果得点** |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  | 種組成 |  |
| 機能グループ組成 |  |
| コミュニティーの分布 |  |
| 栄養段階サイズ／構造 |  |
| 漁業活動の空間的範囲の根拠 |  |
| 漁業活動の時間的範囲の根拠 |  |
| 漁業活動の強度の根拠 |  |
| 結果得点の根拠 |  |

### 海底環境影響評価ツール設定 – 該当しない場合は削除

*本テンプレートは、MSC海底環境影響評価ツールのユーザーが、採点で使用するために報告しなければならない情報について詳述するものである。この意図は、海底環境影響評価ツールの結果が監査可能で、再現可能であることを保証することである。*

*色付けされていない欄はすべて記入すること。斜体で示された注釈、ガイダンスはすべて削除し、該当する場合は具体的な情報に置き換えること。*

*参照：MSC漁業認証規格ツールボックス セクションC*

表21：海底環境影響評価ツール：ユーザーおよび審査情報

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |
| 組織名 |  |
| 使用日 |  |
| ツールを使用した対象UoA |  |
| 使用にあたっては、MSC海底環境影響評価ツールのユーザーマニュアルに従った。 | *はい／いいえ* |

表22：海底環境評価ツール：データおよび設定

*この表は、海底環境影響評価ツールを使用して評価した漁具タイプごとに記入すること。海底環境影響評価ツールを使用して複数の漁具を評価した場合は、以下の表を複製し、漁具タイプごとに1つの表を作成すること。*

|  |  |
| --- | --- |
| 評価した漁具のタイプ |  |
| **データセット：***各欄に使用したデータについての説明を記入（データのタイプ、範囲、出典、元のデータセットの変更など）* |
| 漁獲努力データ |  |
| 評価地域の境界 |  |
| 評価地域境界内の生息域 |  |
| **設定** |
| **漁獲努力及び生息域データ** |
| データセットの漁獲努力データの年数 |  |
| 使用したグリッドセルサイズ |  |
| 枯渇の値：*デフォルト値が使用されていない場合に記入すること* |
| 漁具固有の枯渇率には何を用いたか |  |
| 漁具固有の侵入度には何を用いたか |  |
| 各生息域のタイプに対してどの堆積物タイプを割り当てたか | *例：A2.3 –泥、A2.4 –砂、A2.5 –礫* |
| **回復率：** *デフォルト値が使用されていない場合に記入すること* |
| どの寿命分布パラメータを使用したか |  |
| どの魚種データを使用したか |  |

### 審査のハーモナイゼーション – 該当しない場合は削除

*審査が重複している場合、もしくは新しい審査が既存の漁業と重複している場合には、ハーモナイゼーションが必要である。*

*該当する場合、審査機関は、FCP第3.0版付属文書PBの要求事項に従い、漁業審査のハーモナイゼーションを行うためのプロセス、活動、具体的な結果を報告書に記載することができる。審査機関は報告書の中で、本審査におけるハーモナイゼーションの対象となる可能性のある漁業及び業績評価指標を特定することができる。*

*参照：FCP 第3.0版付属文書PB、表PB1*

表23：重複する審査単位

| **漁業名** | **審査単位** | **認証状況** | **認証発効日** | **ハーモナイゼーションを行うPI** |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |

表24：重複する審査単位

|  |
| --- |
| **関係情報** |
| *当該ハーモナイゼーション活動、プロセス、結果に関する背景または関係情報について記述する。* |
| **年次ハーモナイゼーション会議を実施され、その結果が採用されることになったか** | *はい／いいえ* |
| **年次ハーモナイゼーション会議の日付** | *年／月／日* |
| **実施した場合、その結果について記述** |
| *例：チーム内で合意に至る、もしくは最低得点を採用* |

表25：得点の差異

| **業績評価指標（PI）** | **漁業名とUoA名** | **漁業名とUoA名** | **漁業名とUoA名** | **漁業名とUoA名** |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **PI**  | 得点 | 得点 | 得点 | 得点 |
| **PI** | 得点 | 得点 | 得点 | 得点 |
| **PI** | 得点 | 得点 | 得点 | 得点 |

表26：得点の差異の根拠

|  |
| --- |
| **特別な事情が適用される場合、状況の概略およびこの決定に関して審査チーム間、もしくは審査チーム内において合意に達したかについて記述（FCP第3.0版 付属文書PB 1.3.2.1）。** |
|  |
| **該当する場合、関連するPIの得点の差異の正当性および論理的根拠について記述（FCP第3.0版 付属文書PB 1.3.2.2）。** |
|  |

### 審査チームの経歴および／または履歴書のまとめ（任意）

*The CAB may include in an appendix to the report biographies and/or summaries of CVs of the assessment team. 審査機関は、報告書の付属文書として、審査チームの経歴および／または履歴書のまとめを含めることができる。*

### 参照（参考文献一覧）

*審査機関は、一般に公開されている文書へのハイパーリンクを含めた、すべての参考文献をここに記載する。*

*審査機関は、ステークホルダーが簡単に情報を見つけられるように、完全な参照情報を提供すべきである。できればハイパーリンクとそのハイパーリンクが切れてしまった場合にも情報を見つけられるような追加情報も含めるべきである。*

*審査機関は、原則ごとの参考文献セクションを設けるか、単一の参考文献のセクションを設けるかを選択することができる。*

## テンプレート情報及び著作権

「MSC予備審査報告書テンプレート第4.1版」とその内容の著作権はMarine Stewardship Council（海洋管理協議会）2023に帰属する。不許複製・禁無断転載

*審査機関は以下の情報を削除すること：*

表27：テンプレートバージョン管理

| **版** | **発行日** | **改定内容** |
| --- | --- | --- |
| 1.0 | 2011年8月15日 | 初版発行 |
| 1.1 | 2013年10月31日 | CR第1.3版の変更に伴う更新 |
| 2.0 | 2014年10月8日 | 背景セクション（セクション3）を任意に変更（「できる」という表現を使用）。完全な審査表の代わりとなるよう、表6.3を修正し簡易な得点シートを作成。漁業基準レビューの変更に基づいてPIを修正（例：PI 1.1.2、3.1.4、3.2.4を削除）。 |
| 2.1 | 2017年10月9日 | 任意の本審査表を追加 |
| 3.0 | 2018年12月17日 | 漁業認証プロセス第2.1版に伴う発行 |
| 3.1 | 2019年3月29日 | 使いやすさのための文書の多少の変更 |
| 3.2 | 2020年3月25日 | 漁業認証プロセス第2.2版に伴う発行 |
| 4.0 | 2022年10月26日 | 漁業認証プロセス第3.0版に伴う発行 |
| 4.1 | 2023年5月1日 | セクション5.2の船舶リスト（任意）を追加とRBF PI 1.2.3の微細な修正。 |

MSCプログラム文書の管理リストはMSCのウェブサイトより入手可能（<https://www.msc.org/for-business/certification-bodies/supporting-documents>）。

Marine Stewardship Council

Marine House

1 Snow Hill

London EC1A 2DH

United Kingdom

Phone: + 44 (0) 20 7246 8900

Fax: + 44 (0) 20 7246 8901

Email: standards@msc.org